京城日報
夕刊
定價 紙代一ヶ月金五拾錢…
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

時間表（南行）（北行）[illegible]

○露都に戒嚴令布かる

ペトログラードにては再び無政府黨の騷擾勃發したるより政府は全市に亘りて戒嚴令を敷きコサツク兵は市內の警備に任じつゝあり（露都電報）
露都に再び無政府黨の騷擾起り政府は全市に戒嚴令を布けり（哈爾賓電報）

○露國首相の更迭

露國首相リウオフ公は辭職し其の後任として陸海軍大臣ケレンスキー氏就職せり（紐育電報）

○講和案通過

獨逸議會にては百十六票對二百十四票の大多數にて講和決議案を通過せり（倫敦電報）

○獨逸新宰相の試金石

囑目すべき講和問題の處置

獨逸新宰相ミハエリス氏は本年六十歲に達し司法官行政官を歷任し次官より一躍して宰相の榮冠を荷ひたるものなり責任剛毅果斷意志强固精力絕倫にして國民の畏敬する所となる今回の任命に對しては上下一般の歡迎を受けつゝあり殊に平民階級より宰相を拔擢せるは這回を以て嚆矢とするものなれば一般國民の滿足抑へ難きものあり唯此の上は政黨政派共通の熱望し且つ主張しつゝある憲法改正議院政治の實現並に平和問題の形式を如何に妥協し解決すべきかは新宰相の手腕の利鈍を測定すべき好個の試金石として蓋し刮目に値するもの無くんば非らず（紐育電報）

○獨逸宰相の初演說

自ら講和を提議せず

獨逸新宰相ミハエリス博士は十八日議會に於て初演說を爲して曰く『獨逸は敵國により開戰を餘儀なくせられたるも今や戰局は吾に有利に開展し一時困憊せる食糧問題亦久しからずして救濟せられんとす故に最早獨逸は自ら講和を提議せずされど非併合平和欲求には何等の變化なし議會の決議は祖國の爲めに戰はんとする國民の決心と一致すべく斷じて之を背すを許さず』と（路透電報）

◉東拓改正法

七月二十日法律第二十三號を以て公布されし東洋拓殖會社法改正法の全文左の如し

法律第二十三號
東洋拓殖株式會社法中左の通改正す
第一條 東洋拓殖株式會社は朝鮮及び外國に於ける拓殖資金の供給其の他拓殖事業の經營を目的とする株式會社とし其本店を東京に置く
第三條中『日韓兩國人』を『日本人』に改む
第六條中『東京』を『京城、奉天』に改む
第七條中『四人以上』を『三人以上』に改め『副總裁二人』を削る
第八條中『副總裁及理事』を『理事』に改め同條第二項を左の如く改む
總裁事故あるときは理事中一人其の職務を代理し總裁缺員のときは其の職務を行ふ
第九條 總裁は政府之を命じ其任期を五年とす
理事は五十株以上を所有する株主中より株主總會に於て二倍の候補者を選擧し政府其の中より之を命じ其の任期を四年とす
監事は三十株以上を所有する株主中より株主總會に於て之を選任し其の任期を二年とす
第十條中『副總裁』を削る
第十一條 東洋拓殖株式會社は左の業務を營むものとす
一 拓殖の爲必要なる資金の供給
二 拓殖の爲必要なる農業、水利事業及土地の取得、經營、處分
三 移住民の爲必要なる建築物の築造、賣買及貸借
四 移住民の募集及分配
五 移住民又は農村者に對し拓殖の爲必要なる物品の供給及其の生産したる物品の分配
六 委託に因る土地の經營及管理
七 其の他拓殖の爲必要なる事業の經營
前項第七號の事業を營まむとするとき又は外國に於て前項第一號乃至第六號の事業を營まむとするときは其の事業及地域に付豫め政府の認可を受くべし
第十二條 政府は必要と認むるときは前條第一項第一號以外の事務に使用する資金の額を制限することを得
第十三條 第十一條第一項第一號の資金供給は左の方法に依り之を行ふべし
一 移住民に對し二十五年以內の年賦償還又は五年以內の定期償還の方法に依る移住費の貸付
二 生産者に對し其の生産物を擔保とする一年以內の貸付
三 三十年以內の年賦償還又は五年以內の定期償還の方法に依る不動産鐵道鑛業權其の他不動産上の權利を擔保とする貸付
四 公共團體又は特別の法令に依り組織したる産業に關する組合に對し三十年以內の年賦償還又は五年以內の定期償還の方法に依る無擔保貸付
五 農業者二十人以上連帶して債務を負ふ者に對し五年以內の定期償還の方法に依る無擔保貸付
六 移民取扱業其の他拓殖事業を營むことを目的とする會社の株券又は債權の應募引受
七 移民取扱業其の他拓殖事業を營むことを目的とする會社の株券又は債券を質とする五年以內の定期償還の方法に依る貸付
八 法令の規定に依り設定したる財團其の他確實なる物件を擔保とする三十年以內の年賦償還又は五年以內の定期償還の方法に依る貸付
前項第二號の貸付を爲す場合に於ては手形割引の方法に依ることを得
第十三條の二 東洋拓殖株式會社は定期預り金を爲すことを得
前項の定期預り金は前條第一項第二號又は第七號の貸付に充つる場合を除くの外之を使用することを得ず
第十四條中『又は動産』及『但書』を削る
第十五條に左の但書を加ふ
但し抵償ある場合に於て東洋拓殖株式會社より借入する新債を以て舊債を償還する效果に依り新債の第一順位の擔保と爲ることを得べきときは此の限に在らず
第二十一條中『國債證券』の下に『若は政府の認可を受けたる有價證券』を加ふ
第二十二條の二 東洋拓殖株式會社は日本勸業銀行の代理店たることを得
東洋拓殖株式會社は日本勸業銀行の貸付を代理したる場合に於ては日本勸業銀行に對し債務者の爲に債務の保證を爲すことを得
第三十三條中『韓國政府の任命したる監理官』を『政府』に改む
第三十七條の二 東洋拓殖株式會社の貸付金の利子及割引料の最高步合は每營業年度の初に於て政府の認可を受くべし
第四十條の二 政府の所有する株式に對しては大正六年度以降大正十三年度迄の營業期の利益の配當を爲すことを要せず但し每營業期に於ける利益配當が政府以外の者の所有する株式の拂込資本額に對し年八分の割合を超過するときは其の超過額は政府以外の者の所有する株式に對する配當の割合に達する迄政府の所有する株式に配當し尙殘餘あるときは平等に配當すべし
第四十一條中『副總裁』及『副總裁又は理事』を『理事』に『及第四十條』を『第四十條又は第四十條の二』に改め第三號を左の如く改む
三 第十二條又は第三十四條の規定に依りて發したる命令に違反したるとき
三の二 第十三條第十四條乃至第十七條の規定に違反して資金を供給したるとき
三の三 第十三條の二第二項の規定に違反して預り金を使用したるとき
第四十二條中『副總裁』を削る
附 則
本法は大正六年十月一日より之を施行す
本法施行の際現に理事たる者の任期に關しては仍從前の例に依る

◉總監天機奉伺

二十四日は大暑に入れるを以て山縣政務總監は同日朝宮內大臣に宛て天機並に御機嫌を奉伺す可し

◉政務總監登山

山縣政務總監は時永總務課長吉木秘書官山田執事の諸氏同伴二十二日午前七時半官邸出發北漢山登攀をなし午後四時頃歸邸せり

◉王家天機奉伺

李王李太王兩殿下は二十四日朝使を總督府に遣はし天機奉伺の傳達方を依囑さる可し

◉菜豆生産調査

輸移出開始

菜豆は從來各道共に多少の栽培を見ざるなく特に北部地方は其の風土之れに好適せるを以て生産多かりしも未だ之を移出せられたることなかりき、然るに歐洲戰亂の影響を受け其の價格俄に騰貴したる爲め大正四年以後之れが輸移出を見るに至り大正五年に於て輸移出せられたる數量四千八百四十七石價額十萬五千七百十三圓に達せり、然れども是等の品種は何れも在來種にして其の品質良好ならざるが故に北部地方に於ては曩に試作し優良の成績を得たる大福、中福、鶉豆等の優良品種と漸次變換すると共に一面其の作付反別を擴張するに至らば菜豆は該地方に於ける重要貿易品たるに至る可し、左に大正五年菜豆生産高を掲ぐ

道名	生産高	道名	生産高
京畿	二九三、六石	平南	一七、四
忠北	―	平北	一、六五〇、〇
忠南	―	江原	四三七、〇
全北	四六、一	黃海	―
全南	三二、二	咸南	二、〇九四、〇
慶北	四五、〇	咸北	五、一三〇、〇
慶南	六一、〇	計	一〇、二六四、七

◉夜盜蟲猖獗

京畿道開城郡一圓に夜盜蟲發生し粟、蜀黍等の被害甚しく道に於ては發生と同時に郡技術員及び郡職員指導の下に警察官憲の援助を得て極力驅除豫防に努めつゝあり

◉注目を要する大問題

露國の外國爲替禁止斷行さ鮮銀
大田朝鮮銀行理事談

露國の外國爲替禁止は該禁止令發布の官報去る十七日浦鹽に到著せし由にて即日より同地に實施を見しかば

▲鮮銀系統の松田銀行部は同日以來全く爲替業務の取扱ひを停止し居れり鮮銀として松田銀行部の爲替停止は必らずしも至大の問題ならざれど歐洲戰爭以來非常の勢ひを以て發展せる日露貿易は其の大部分浦鹽經由の途をとり其の商品の呑吐による爲替は殆んど吾が松田銀行部にて取扱ひ居たるため銀行部爲替停止の結果日露貿易は其の仲介決濟機關を失ひ杜絕するに至らずや之れ實に由々しき問題なり尤も該禁止令を見れば外國爲替取扱の金融機關は特に大藏大臣に於て之れを指定すとあり乃ち爲替禁止による

▲外國貿易の杜絕は之れを避け得る如きも其の外國爲替取扱の銀行は果して何地に又何行を指定せしや全く不明なり鮮銀にては禁令により當分松田銀行部の爲替取扱停止をなすの外未だ進んで爲替取扱銀行の指定を露國大藏省より受くべしとは考へ居らず而して本問題に就ては東京大阪神戸方面に於ける對露貿易業者も非常の利害干係を有するに付重大事件として其の良好の解決を得るやう蹶起し當局亦相當研究中の模樣に付姑らく其の成行を見而して相當の方法を執る外なからん何分露西亞の事は吾々に不可解の事少なからず一時の問合せをなすも

▲露都まで電報の往復に十日以上を要し書面は一月以上を費さゞる可からず然も其の檢閱嚴重なるため著否さへ不明の場合あり問題發生に對する善後策研究の如きは仲々容易の問題に非ざるなり更に爲替禁止の結果多數の在露同胞は今後如何なる狀態に推移するか注目を要する問題と云はざる可からず

◉城院長出張

京城覆審法院長城數馬氏は咸興、淸津、城津、會寧、鏡城、各地の裁判所事務視察の爲め廿二日朝出發せり八月十三日頃歸任の豫定なりと

◉持地長官出張

持地遞信局長官は既報の如く二十四日午前八時三十分發列車にて遞信事務視察のため南下大田群山を經て木浦に下り麗水經由釜山に上陸の筈なるが伊藤事務官補は二十六日朝發裡里にて長官の一行に加はるべしと

◉松永長官屠場視察

松永京畿道長官は廿三日午前西大門屠牛場及び京城恩賜授産製絲場等を視察せり

◉矢野課長出發延期

遞信局通信課長矢野義二郎氏は近日金剛山方面に出張の筈なりしも公私要件の都合上八月中旬以降に延期したり

◉木村理事近狀

在東京の木村鮮銀理事は盲腸炎の疾患略快癒に近く其の衰弱も殆んど快復したれど尙ほ豫後の療養を必要とするに付二十二日約二週間の豫定にて東京帝國大學醫科大學病院に入院する旨某所に通報ありたり

◉製紙會社許可

朝鮮製紙の事業計畫は豫て許可申請中なりし三井得右衞門氏外十二名の發企に係る朝鮮製紙株式會社は總督府に於て審議の結果十九日附を以て許可の指令ありたり、會社はパルプ及び洋紙の製造販賣を目的とし尙ほ附帶として木材の賣買を營まむとするものにして總資本金五百萬圓中第一回に百五十萬圓（一株五十圓十萬株）の拂込みを爲す筈なるが其の內約七萬五千株は發起人側に於て引受く可しと而して其の事業計畫を聞くに會社は新義州に接續する鐵道線路の東側に約四十萬坪の地を卜し此處に工場其の他の設備を設け營林廠より每年木材十四萬尺〆の拂下を受けて之れより一萬噸のサルファイトパルプを製造すると共に其の拂下區域內に於けるパルプ材以外の木材は之を製材賣却するの豫定なり因に會社は急遽工場其の他の設備に著手す可きも木材の伐り出しには多大の日時を要す可きを以て實際製品を見るは明後年の頃となる可し

◉愛知縣視察團

愛知縣師範學校同窓會教育視察團二十三名は二十四日午後五時三十八分南大門驛著汽車にて平壤より入京の筈なり一行は同日午後六時より西大門倶樂部に於て上田視學官の講演を聽き同夜は原金旅館に一泊二十五日は市中を見物の上仁川に赴き二十六日朝退京の由なり

◉和歌山縣視察團

和歌山縣視察團一行は二十五日午前八時五十分入京の旨某所に通知ありたり

◉露貨益下落

露西亞に於ては留の價格維持に付諸種の手段を講じつゝあるも其の效果疑はしく露貨は益々暴落の傾向を呈しつゝあり二十三日京城某所への入電によれば長春は百圓替二百四十八留てう新價を現はし哈爾賓は二百四十留を示し而して倫敦にては二百二十一留なりと

◉熊本五高同窓會

在京城熊本第五高等學校同窓會にては中川幹事の斡旋にて第一部長會議にて會員の上京あるを機とし二十二日午後九時より千代本に於て同窓會を催せり時恰かも暑中休暇に際し歸省又は出張等のため故障多かりしに拘らず佐々木慶南、秦平北、三田咸北、齋藤忠北の各部長を始め梅野兼二浦三菱製鐵所技師長安住辯護士草場高等法院檢事局總督府事務官權藤李王職事務官上田工學士野口漢銀支配人中島千代田生命支店長等二十餘人にして何れも少壯學生時代の氣分となり快談湧くが如く興味盡きず深更に至りて散會せり

支那時局雜話（下）

在上海 鵠鴻生

○南方派の主張は過般の解散は違法の解散であるからこれを取消して再び舊議會を召集すべしといふにあるのだが無論段がこれを聞き容れる譯はない、茲に於てか彼等は張勳は國をなみし、段祺瑞は法をなみすなど唱へて、張勳並の逆賊として攻擊してゐる

○其處で、南方派と段の間に再軋轢をはじめることは免れぬとして例によつて氣に懸るのは馮臨時大總統の態度である、段、馮均しく大總統の地位を覗ふものであつて見れば結局に於て兩立を許さぬものであることは免れぬところである、既に段は再び黎元洪を推すべしと傳へられ、段內閣の入選には馮總統異議なく、馮總統が蔣省長をして江蘇督軍を兼任せしめんとすれば段は倪嗣冲をして之に充しめんと爭てゐる有樣である

○今日の支那新聞を見ると張繼や吳景濂などが南京へ出掛けてゐる、そろ／＼魂膽をはじめるのだらう元來南方派の意見は此際黎元洪を北京から迎へて上海に臨時政府を建てやうといふのであつたが、世間では馮一派が之に贊成する譯はなく、遂に馮が臨時大總統になつたので、逸仙の如きは馮とは別に討逆軍を起すといふので飄然廣東に向つた、海軍一派も南方派と提携して馮の處置に反對してゐる、其處で南方派は廣東を根據とし、西南六省を聯合し海軍と提携して又々元に戻りて議會復活の約法擁護の旗を擧げやうといふのだが果してうまく行くかどうか彼等の一番の急處は軍資金の足らないことで、此點今にうまい智惠もなささうだ

○これと關連して近頃面白いのは國都の問題だ、馮一派は南京を可なりとし、南方派は上海を可なりとし、北方では天津說もあり之を實際に見るも數日後には上海には伍廷芳が外交總長の印綬を持參して、臨時事務所を設け、南京には臨時大總統府がなく、天津には段內閣があり、本場の北京には淸朝があり、黎大總統がゐるといふ譯であつた、こゝらが何といつても支那でなければ見られぬ圖だらう

○支那の政局を日本の政界にたとへて見ると段は差詰め寺內伯で梁湯一派の研究會は政友會で馮は大隈侯、南方派は憲政會といふところであらう、段內閣は多數黨たる南方派によれば一番天下泰平な譯だが、どうしても政友會なる研究會を守り立てゝ來るべき總選擧に雌雄を爭ふの外はない、それにしても支那の大隈侯の態度や如何（完）

◉物價益々騰貴

京城に於ける重要商品の六月中に於ける物價調査を見るに總數三十二點中前月に比し騰貴せる物は十九點保合十點低落三品を示し益々騰貴の傾向を表はしつゝあり例によつて其の騰落商品及び狀況を概記すれば左の如し

△朝鮮生産品
▲騰貴、米、精米、小麥、大豆、小豆、高粱、煙草、明太魚、松板材、紙
▲保合、大麥、鹽、鐵原紬、柴薪、牛皮
▲低落、牛肉、木綿、木炭

△輸移入品
▲騰貴、麥粉、精糖、醬油、麥酒、綿糸、和金巾、綿花、マッチ、洋紙
▲保合、清酒、支那紬、石油、石炭、金物

▼騰貴諸品 ▲米● 米價は依然內地相場の昂騰と本春來の雨不足麥作不良を强材料とし前月來の躍進相場を續け玄米は前月に對し石二圓方精米は四圓方騰貴せり、雖も月末慈雨あり植附普及せしため稍落ちつき氣味なり▲大小麥● 不作減收の見込み豫想以上とされ市價强調にて大麥は前月も變動なきも小麥は硬調なり▲大豆● 大豆は內地にて荷透となりたる矢先銀高の影響にて滿洲物の輸入少なきため市場手堅く京城地方に對する注文も輻輳したるが産地筋よりは旱天續き水運の便あしく出廻り少なく爲めに石一圓五十錢の騰貴小豆も昂騰一方なり▲莨在● 久しく市價落ちつきゐたるも

▼漸次端境期に入り廻著少なくために上向きつゝあり▲明太● 前月少しく下押しに傾きたるも多物品薄を氣構へ稍々騰貴を見る▲松挽材● 一般の氣配益々强硬にて價格は前月に比し五分乃至二割方の騰貴を見たり▲朝鮮紙● 支那向き輸出好調にて又製紙も一部停止せしものあり一塊に付二圓方騰貴せり▲麥粉● 米國に於ける暴騰に續いて內地物も引續き輸出旺盛なれば茲許上昇一方なり▲醬油● 前月高價保合たる本品も原料其他諸材料騰貴のため未だ强調なり▲麥酒● 季節柄賣行きよく關稅少許引上のため一函十五錢の値上▲綿糸布● 先月以來既に大變化を來したる綿糸布界は米綿の奔騰綿花の收荷薄紡織不足等の諸材料に制され內地相場逆騰し京城も之れに伴へり▲打綿● 米棉作附不良の豫想にて相場は上昇一方▲マッチ● 武燐マッチは內地各港より積出さゞる事となりたれば在荷拂底して益々强氣に傾き安全も亦之れに伴ないつゝあり▲洋紙● 海外輸出盛況を告げ品によりて缺乏を來したる者あり時價底强し

▼低落商品 ▲木炭● 賣行き季節柄少なく相場も下向きつゝあり▲牛肉● 前月一度氣崩れ立ち本月に入りては賣行き更らに思はしからず氣配軟調なり

【清州】

▲林野整理調査 忠北道にて昨年末より著手したる林野整理調査は既に淸州郡內の八面及び鎭川郡一圓の調査を終へ林野所有(緣故)權臺帳並に地圖の作製を了りたるが本年秋よりは更に六面の整理調査を進むる豫定なるに付之が完成の曉は恰も耕地に對する土地臺帳並に地籍圖の如くにし之を各郡面に備付け一見して直ちに林野の所有者を判別し得るが如くになし一般の閱覽を許すことゝなるべしと▲春繭共同販賣總額 過般忠北各地に於て行ひたる春繭共同販賣總額は一千百廿石にて價格八萬五千三百圓に達したる由因に道內春産繭總石數は約三千石に上りたり▲會計講習會 忠北警務部にては管內各警察署會計係員を召集し十九日より一週間の豫定にて總監部阪本警部鎌倉警務部の二氏を講師とし會計事務講習會を開催したり

【大邱】

▲大邱旅團期成會 大邱旅團設置期成會は近く之れを解散せざるべからざるに就き二十五日幹事會を開き殘餘金處分方法及び同會功勞者の表彰に關し協議すべしと▲大邱商議臨時會 大邱商業會議所は二十二日午後七時より臨時總會を催し慶北道內木土工事請負入札方法改正の件に就き議する所ありたり▲土用三郎と大邱 二十一日土用三郎當日大邱地方に在りては午前六時より天候快晴にして軟なる南風あり氣溫七十二度五分同午後二時最高氣溫九十九度九分を示せり

人事消息

▲勅使河原健之助氏(京城地方法院長) 二十三日午前水原へ
▲カーチス氏(米國領事) 二十二日夜水原より歸京
▲島井間島通譯官 二十二日夜元山より入京[illegible]へ
▲横田虎彦氏(辯護士) 同京城ホテルへ
▲高橋莊一氏(鏡城憲兵隊中尉)柏木仁義(同上)前川浩(京城憲兵隊中尉) 以上二十二日夜入京著任
▲河內山樂三氏(事務官) 東上中の處二十二日夜歸任
▲平井博士 二十三日朝南大門通過北京へ
▲白水淡氏(軍參謀長) 二十二日發馬山へ
▲愛知師範視察團一行(二十三名) 二十三日夜平壤著の豫定

孤雲岬上の海雲臺遺跡

海雲臺から東萊へ
海と山と温泉に（五）
波退けば千鳥も鳴かず さくら貝眞砂に散りて

森から出て見ると海は何時の間にか遠く潮が退いて波と共に今まで鳴いて居つた千鳥の聲も聞わず干潟の砂は新らしく潤うて其處には濃青の海藻や昆布や美しい色の櫻貝やいろ／＼の貝が散かさつて居る孤雲岬に近づくと岬の裾の岩は水の上に現はれて岩の間には

◇◆◇（磯の小さな池が出て來て蟹や海老や小魚などが）

藻草の中に泳いで居る子供などが見たらどんなに悦ぶか知れないと思つた、岩には貽貝、石砌などの奇妙な貝が一面に著いてゐるし細鱗の貝は山蜘蛛のやうな足を出して岩の上を這ひ廻つて居るし足の長い海蟹が人の足音を怖れて穴の中に逃げ込むだりするのが限りなく面白い岩の下を見ると水が青く澄んで雲丹や海鼠などが見わる海水に浸蝕されて一面に洞穴の明いた玲岩が重なり合つて孤雲岬は成きて居る上に上ると海は愈く遠く廣く見ゑて

◇◆◇（眺める者を魅する如な刃藤の色が漲へてゐる）

海岸に面した三方は奇岩累々と重なり上つて居るが陸地の方へ續いた一面は松や雜木が茂つていろ／＼の蔓草や合歡木の花が咲いて居る岬の中腹には桃や林檎を植付けて居るが汐風が烈しくて成長は覺束ないといふ事だ岬の上の岩に『海雲臺』と大文字が刻んで有る其の邊に平坦な地が有つて礎石が殘つて居る昔時海雲臺と稱する亭の在つた處だ、亭は新羅の碩儒崔致遠の居した處で其の頭は岬一面に紅白の椿が咲き充ちて居たと云ふから當時の山光水色は思やらる、事である崔致遠は落上より

◇◆◇（遙かに對馬を眺め或は波の遊泳の際に）

生起した白雲が漂び來つて岬の上に曳搖するをながめながら詩を賦し文を作つて樂しんで居つた岬を右に下ると其處は朴泳孝侯の別莊の方へ這入つた入江である其の廣さは二三十町歩もあるべく波は靜かに砂は奇麗で水の深さは三尺ばかりであるから女や子供の海水浴場としては最も適當の場所であらう入江を巡つて再び松並木の中から鐵道ホテルの敷地に成つた深林を横に見て再び温泉に浴し海水浴の鹽を浴び落して宿に蹈り綴ろやかに海の涼風の訪づれて來る一室に午睡し午後から山に登る事にした前は漫々たる日本海の海波岸を洗ふ

◇◆◇（海雲臺は背後に於て又甚だ山嶽に富んで居る）

温泉場から半里足らずで麓に達する山だけでも烽山、甑山、天子峰、如佛山、萬鶴山等があり温泉場の一部として將來遊園地の設備を爲やうとして居る圜内山公園朝日嶽公園なども又温泉場背後の山の内に加ふべきものである殊に烽山は昔時狼煙臺を置いたる山で今も石階狼煙爐などが殘つて其邊の石は黝く煤け歷史上興味多き遺跡である温泉を巡ぐつて流る、渓川は其の源を萬山に發し中途瀑を成して居る瀑見は海雲臺に遊ぶ者の忘れてはならぬ一つであるいふ事だ（海雲臺に於て聽村生）

運搬中の藥品爆發す
山陽線宇野驛にて藥品運搬中二十一日午後九時俄然爆發し仲仕一名重傷を受けたり（大阪特電）

那智瀧の心中
讀賣新聞記者遠藤重吉（二六）及び木戸ハル（一八）の兩名は相携へて那智瀧壺に投身せしが二十一日屍體を發見せり（大阪特電）

職工の同盟罷業
大阪鐵工所志摩分工場職工二千名は日給三割増を要求し同盟罷業を爲せり（大阪特電）

日本電池會社工場一棟燒失
京都新町今出川上る日本電池會社は二十二日夜出火工場一棟を燒失せり（大阪特電）

汽船接觸 早鞆海峽にて
郵船萬盛丸と振武丸
郵船萬盛丸（二五六四噸）及び三井物産傭船振武丸（五〇〇〇噸）は二十二日午後四時部崎より門司港へ入港の際早鞆海峽日の山下に於て接觸す原因は潮流の爲めなる可し損害程度不明なるも六時二船共に無事入港せり（門司特電）

何故こんなに暑いか
京城地方に於ける今年度の暑さは平年に比して甚だしく高温を持續し最高氣温は未だ驚くべきレコードを示し居らざるも平均温度は今月一日以來毎日例年より三度乃至四度高し之れ例年は朝夕の氣温著しく降下せるに本年は晝夜の温度平均に高きを以て日中の温度の割合に平均温度例年より著しく高し之れが原因はオコツク海の流氷の關係より千島附近に發達したる優勢なる高氣壓數日前南下して小笠原群島附近に在り盛夏の氣象配置を爲し之れが爲め過日來北海道地方は夏期に於ける稀有の寒氣を覺えたり又一方北支那地方には濃厚なる低氣壓起りて漸次南東に進行しつゝあり今年の暑氣は暖流及び其他の關係にて今後も暑氣持續せらるべく廿二日の最高氣温は三十二度餘華氏の九十度を示したり

不正貿易商大檢擧
釜山より移出の魚肥に土砂を混入す
釜山署の大活動＝火の手擴大せん
釜山より移出に係る魚肥料に多量の土砂を混入せる爲め内地肥料商及び需用者の蒙る損害尠からず過日來下關商業會議所より農商務省朝鮮總督府に

▲取締方を稟請し且つ各府縣に注意警告を爲し今や内地の大問題と爲り居れるも釜山商人は内地の奸商と結託して輸出を計り暴利を貪り居れるより斯くては朝鮮貿易を障害し釜山重要物産の聲價を傷け釜山商業の盛衰に關する事なるを以て釜山警察署は二十二日來

▲大活動を開始し 大津警部刑事巡査多數を指揮し不正魚肥に混入する砂赤土を供する牧島森彥一外三名を檢擧したる結果二十三日午前商濱海産物商三井田信次、淺海吉太郎、齋藤、古谷、埋立地竹内虎一、本町四丁目橋本房其他を檢擧取調べ中なり尙現に公職に在る知名の者數名其他多數の不正者あるを發見

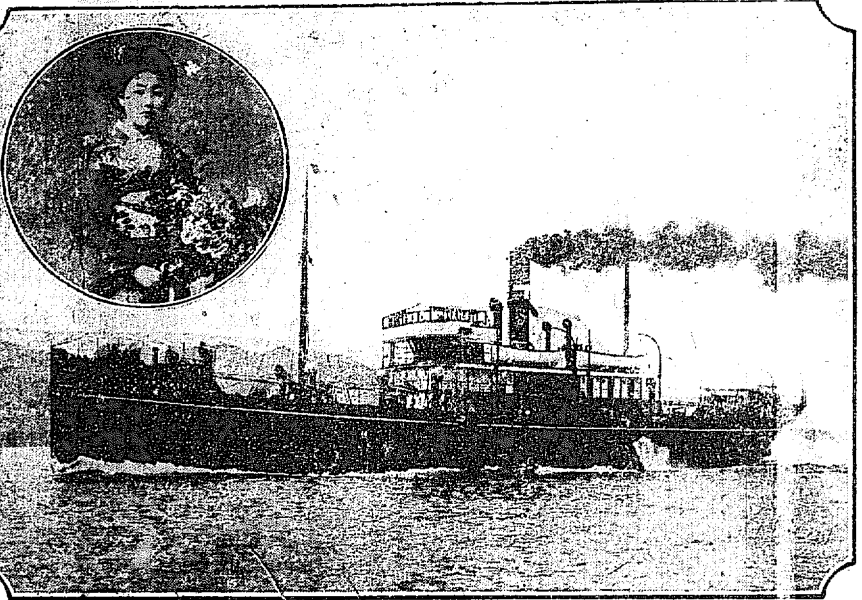
▲引續き檢擧の 管判明せる土砂は數萬斤に達し四割を混せるもののある由自白せり警察署は此の際假借する處無く檢擧を行ひ一般貿易界の革新を計る可き意氣込なり（釜山特電）

若き内地人男女の
抱合情死
所持品遺書等無く身元を知るべき手掛り無し
京畿道開城郡興教面領井浦の浸江岸に本月二十日縛り合せたる内地人男女の溺死體漂著し居るを發見し開城憲兵分隊より憲兵出張檢視せり屍體は兩人の帶長さ三尺位の木綿布にて幾重にも堅く捲つけて

▲互に離れぬ樣に繋ぎ居れり死後二週間以上を經過し居るもの如く屍體は腐爛して人相等詳細は不明なるも男は年齡二十七八歲位にて手足等より推察するに勞働に從事したることなき優男にて身長五尺一寸位髮は五分刈りとなし丸顏の屍深せし方、身にはニッケル鍍五個附けある白縮衣の上に二の字形の白浴衣を著し一尺帶黑毛繻の兵兒帶を締め紺綿白地に花形ある浮織りの手巾に現金二十三錢入れたるものを携へ居れり女は二十一二歲位の一見酌婦か娼妓體にて身長四尺六寸位丸顏中肉にして顏長く、鼻筋通りたる美人白と黑との模樣ある浴衣の下には白毛斯の襦袢と白木綿の腰卷きをなし青色がかりし三尺巾位の帶を締め居れるも所持品なく

▲兩名共遺書等もなき爲め身元を知るべき手掛なく引取り人なき爲め屍體は何れも取りへず與致郡の共同墓地に埋葬せり兩名は多分京城あたりの者なるべく合意の上抱合て情死を企て此の始末に及びたるものゝ如く開城分隊にては濱江沿岸各駐在所に手配して目下身元を調査中

陸海相を暗殺せんとす
ボロック町通過中の危難
ウイテツク州ウイラ河畔のボロック町にては陸海相ケレンスキー氏暗殺計畫行はれ陸海相は通過中狙擊されたるも彈丸外れてケ氏は危險を免れたり（露都電報）



朝鮮郵船の新造船平安丸
朝鮮沿岸を航行する船舶中朝鮮郵船會社で新造した平安丸は鮮内に於ても鮮外に於ても噸數に於ても第一位に坐してゐる。神戸川崎造船所の製造に係り五月二十三日進水し噸數一千五百八十噸、延長二百四十呎、幅員三十六呎、深さ二十一呎で、速力は十三浬半、實馬力は一千七百馬力の貨客船である。而して旅客の定員は一等十一人二等三十四人三等四百十一人で乘組員は船長赤瀬直太郎以下五十三名である、又當日の命名は原田朝鮮郵船の令孫に當る川崎造船所高級社員阿部工學士令嬢せつ子の君で進水式當時撃細のロープ切斷した令嬢さんである

齋藤代議士死去
宮城 [illegible]

山三郎（[illegible]）黄金町七丁目五十四吳昌根（[illegible]）は二十二日何れも赤痢と診斷

[illegible]回更らに八人乘新式自動車を運轉せしむべく計畫中にて近日到著の筈なれば同地旅客は一層の便宜を得べ[illegible]

（一等二名）赤塚正朝、河内山榮三（二等二十二人）岡本英太郎、岩本眞一、富田松太郎、岩田鐵藏、有馬市助、安井しやう、岡重一、吉田文七、岡本政雄、荒木大助、西澤和正、中村高次、山口五郎、市文休、何手藤三、岸本德三郎、小此木唯一、濱内式惠、野老山久太郎、安藤孫兵衛（三等百二十二名）

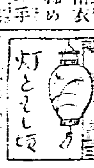
讀者文藝（[illegible]）
▲俗謠（戀）

戀に長良の夏の夜更けて
罪な鵜舟の捨て篝（一等） 大塚 秋 穗

▲何に戀なと云はれて見たい世帶染みたる昨今日 汗浦 紫 浪

▲戀といふ字は一字で足るが限りないのは人の戀 利川 守 山

讀者文藝 課題及募集規定
▲用紙は端書又は四形の洋紙一枚に[illegible]住所氏名明記の事 ▲締切は一週間後 [illegible]


灯とし
[illegible]人京中の第一部長歡迎會が二十二日の夜朝鮮ホテルで開かれた▲其の席上で或る參會者の圈まりで可なり突き込んだ皮肉や洒落が人々の口から出てゐたと、關屋務局長が珍らしくも俳作の一句を示した、それは『夏の果菓、崖城の句に似たる哉』某人がこれだけでは分らぬから局長に其の説明を求めた、すると局長は解釋は各位の御勝手だと逃げる▲乃で或人は評した、之れは崖城博士の句がまだ青いから夏の果菓にたとへたのであらう▲すると『今一人はナーニそれは博士の句が不味いから局長が夏の果菓と皮肉つたのだ、イヤまだ瞬手の句の未熟を評したものだらうとトリ／＼の評語▲唯一人博士にとつて好意ある解釋を下した者があつた『成程博士の句はまだ未熟だが何れ秋の林檎になつて熟すれば巧くなるだらうと云ふ意も局長は猶さらせてゐる』とやつたのでドッと一同笑つたが、崖城博士たる者此際默つてゐたがちや男が立つまいといふ話し▲京城高等女學校では廿三日から向ふ二週間卒業生に對し按摩術の講習會を開いて居る▲講師は總督府濟生院盲生教師の根本氏だから本物だ▲講習生は目下二十五名あるこれもお嫁入り道具の一つだワネと講習生諸孃一生懸命に肩を揉み合つて居る▲ほんとうに姑なんて云ふものは讃美歌を歌つたりバイオリンをコスツて聞かせるよりも肩の一つも揉んでやる方がどの位悦ぶか知れたものぢやあない▲女學校では昨年の夏期には救急療法の講習があつたそれといひこれといひ行く／＼講習生をどれ丈け幸福にするか知れぬ

天氣 曇り驟雨 [illegible]

商況

公債直取引（京城二十三日前場）
五分利特別 八一、〇〇 [illegible]

深川正米特電
二十三日現在高 [illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

雜報

三品中止と人氣
強氣一派の猛襲愈急激
[illegible]
現物市場甚だ混沌
[illegible]
或は一反落
[illegible]

粗布賣止め
[illegible]
粗布賣止めの發表
[illegible]
三エー票は現金の三百四十圓處
[illegible]
解停後の建値は三百五十圓を下らざるべしといふ

支那棉益々昂騰
上海市場も棉花は在荷の拂底
歐洲筋の買付採算上一入高値
氣旺盛
[illegible]

哈市との取引
[illegible]

暴騰せる諸價格
[illegible]

輸出製靴の其後
尙有望なりと
朝鮮との交易
[illegible]
材料の用意
製靴工大に不足
製靴は一日平均僅に五十足内外
百二三十足を超る
[illegible]

精白米ヂリ高
又々二十錢
三圓三四十錢に引戻
[illegible]

砂糖は強硬
人氣も次第に硬化
[illegible]

味噌値上げ
[illegible]
大樽一圓小賣十貫目に付五錢方の値上
[illegible]

下關相場
[illegible]

田中金錢店 電話長一六二八番

京城正米
[illegible]

南大門の廻穀
約二十錢高の廻米望み難
[illegible]
五六十叺以上
四十錢安
[illegible]

釜山穀物（廿二日）
[illegible]

釜山水産市場（廿二日）
[illegible]

仁川朝米
二十三日前場（不勢）
[illegible]
先二十二圓十九錢と三錢安に寄付
[illegible]
大阪七十錢と跳れて小變動
[illegible]
大阪天候晴
[illegible]

市場零聞
保合下濺る
[illegible]
大阪跡安
受けて混戰狀態
稍不勢に陷る
[illegible]
鞘益縮少す
[illegible]

當月限戰
[illegible]
休日越し不勢
[illegible]
仕手の上に大移動を來す形勢
[illegible]

仕手の移動乎
[illegible]

仁川米豆取引所
二十三日の九月限
[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金昌田中商店 [illegible]

●赤痢　京城初音町七十二閔…

●…新式自動車　海雲臺は海水浴の設備と海水浴場の開始せると東萊よりの自動車開通せし以來同地に來遊するもの漸增加しゐる爲め今…

●連絡船上陸客　廿二日午前八時五十五分釜山入港新羅丸一二等客十五名(三等二百七十九名)　廿二日午後九時三十五分釜山入港對馬丸一二等客(一等二名)…

●土用干しをする前に
手當をする事を忘れては不可ぬ

いよ／＼二十日から土用に入りました。濕ぽつたい土藏や、日の目を見ない長持ち、簞笥のなか等に一年中藏つてあつた衣類を初めとして、漆器の類、鞄、重箱その他の品々を或は强い

◎日光に曝したり、或は蟲干にして風を通させたり充分に手當をするのは、この季節が最上です。先ず衣類から云ふと、同じ摂じるにしても、塵垢の附いたのをそのまゝにして置いたのや、藏つておく場所の不潔から來たものや、或は鼠の害を蒙つたもの、標本虫、人參虫、衣蛾、小衣蛾などの虫類に食べられたもの、濕氣から來た黴など、いろ／＼種類がありますが、要するに

◎土用干しは　それらの虫の害や黴などを防ぐ手當をするのが第一の目的なのですから、よく日光に曝すと云ふ事と風通しをよくすると云ふ事は心得ておかねばなりません。それに簞笥から取り出した時に柔かい淸潔な毛で作つた刷毛の類で表から裏へかけてスッカリと拂ひおとすことが肝心です。目に見ねる塵が附いて居なくても、必ず、前に記した樣な

◎衣類を蝕ふ　蟲の卵がついて居るに違ひありません。もし、拂ひ落さねと、何んなに强い日光に當てても、なか／＼死ぬと云ふまでには行きませんから、再び簞笥の中で發生するやうな惧れがあるのです。かうして蟲は一番濕氣を好んで乾燥を嫌ふものゝ故、强い日光でかはかす事や風を通させる事が最も良い手段です。蟲干しが濟んでいよ／＼藏ひ込む時には

◎ナフタリン　を一枚に三個づゝ入て置く但此方法は普通一般の家庭に用ゐられる手段ですがナフタリンを以て害蟲を直に驅除すると云ふ事が出來ると思ふのは大いに誤つてゐます衣類を蝕ふ蟲の卵は既にナフタリンの臭ひの中で發生して居るものですから、その臭ひに慣れて平氣でズン／＼成長して行きますから

◎根本的驅除　をするには硫化炭素液を長持ちの蓋に濡らして一晝夜密閉しその瓦斯を衣服に浸み込ませ、害蟲を一息に殺してしまふか、或は四鹽化炭素液を矢張り同じやうな方法で濡らし、その瓦斯でスッカリ卵を殺してしまふが宜しい實は私共の考へですと、平常十日間位に衣類を日光に曝らしたり、刷毛で拂つたりして居れば、決して土用干しだからと云つて態々

◎大騒ぎをし　なくても濟むと思ひます。漆器類は日光に當てず蔭干しにして風を當て、藏器の隅々によく注意し、淸潔な紙片でよく包んで仕舞ひ込むことが肝要です、それから鼠の喰ひ破つた穴へは、亞砒酸を食パンに混じたものを、埋ておきますと鼠は奇妙に斃れます

●東萊丸來る
●バケット式の浚渫船

二三年前迄仁川港内の浚渫作業に從事したバケット式の浚渫船東萊丸は久しく釜山港で作業して居たが再び仁川に出戻つて來て浚渫をする事になつた同船は六百九十一噸、直徑四尺のバケッ三十四個程著いた輪車が猛烈な響きと共に一分間に一回宛回轉するのであるから其の能力は非常に强大で釜山の如き砂質の軟かい處では十時間内に約八百立方坪程の土砂を浚渫し地質の硬い干潟の差の激しい仁川でも相當の偉力を發揮する事が出來、然も干潮の際も水面上の泥土は平氣で浚渫し堅い土砂や軟岩の如きも浚渫する事が可能、船體は浚渫の進行と共に徐々として進むのであるから作業が至極便利で泥土は運搬ボートで港外に運搬して棄てしめるのである(仁川)

●人にも傳染する
馬の鼻疽病

憲兵隊本部附警務總監部囑託陸軍一等獸醫渡邊中氏は六月二十日京城を出發し京義線安州より寧邊北鎭を經て楚山に出て鴨綠江沿岸を下りて新義州に出で安東を視察して十九日午前一時三十分著列車にて平壤に來り平壤憲兵隊及び道廳等に立寄りて事務の打合せを爲し同日午後一時三十九分發列車にて歸任したり然るに同氏今回の旅行は主として獸疫豫防の調査なりし由なるが氏は記者と同車せしに車中馬の病氣について左の如き話を爲せり今回平安南北の旅行は主として馬疫の調査をしましたが元來馬には種々の病氣がありますが

近來斃馬の比較的多い
のは鼻疽であつて

自分が今回旅行せし各地方に於いても大分に發見しました朝鮮人が自分の馬が鼻疽に罹つて居ることを知らずに居るのが大分にありました又郡面等の畜産組合等に於ても鼻疽の症狀を呈して居つても一向に知らないでゐるのは誠に氣の毒な感じがしました鼻疽の傳染力は極めて緩漫でありますが馬の斃死するのが最も多い又此病氣は牛や豚には傳らぬけれども人間に傳染するものでありますれば特に注意をする必要がありませう從來醫師が肺病なりと診斷した患者が眞の肺病にあらずして鼻疽であつたことがあります馬は常に人間と接觸しつゝある動物なれば馬が鼻疽に罹つたならば豫防の必要上之を撲殺するの必要がありますが何分生死の判らぬ者を殺すのでありますし又飼育者に對し補給さる手當金の如きも少いから愈々殺すとなれば一面氣の毒な感じがします北鎭の東洋金鑛會社の醫師は鼻疽の治療豫防等に對し施療を爲しつゝあるを見受けましたが外國人にして此心掛あるは敬服の外ありませぬ目下平安北道に二十三パーセントの患馬がありますが平安北道長官へも豫防について種々話をしてかへりましたが本日は又平安南道長官に話を致して置きました何れ自分は調査研究の歩を進めて此病氣について他日發表する考であります(平壤)

街の砂

■世界一の大煙突　此の頃大分縣佐賀の關に築造した久原鑛業會社の製錬所の煙突は高さ五百十七呎根本の直徑四十二呎八吋ある世界最高のものださうなが建設一切は日本人技師の手で完成したのだと

■困つた亭主　深川區清澄町折尾村長藤長右衛門(三一)は妻くまとの間に四人の子供と七十になつた父もあるに先頃雇入れた下女の宮野ちか(一七)と關係して今では姙娠六箇月になつたので十三日夜六十圓を持つて二人は姿を晦ました

■上等兵服の博士　此の頃新博士二十二名の學位授與式を擧行されたが中に工兵上等兵の服裝で出頭した人は滋賀縣大津市出身目下中野電信隊一年志願兵の鐵田貞次郎氏(三〇)であつた

■勇敢な小學生　熊本縣八代郡八代下加子町代陽小學校三年生平野辰雄(一一)は十六日午後三時頃附近の一非簡川で游泳中溺死せんとしつゝあるを見て之れを助けやうとすると辰雄が摑みついた爲め兩名共溺死してゐるのを他の者が引揚げ辰雄だけは辛く蘇生したが辰雄は遂に共斃となつた

■危險な學生　熊本市北新坪井町學生内田秀彦(一八)は出戻り女野中とよ(一九)と關係した揚句先頃その噂をした者を傷けたが、十六日市中の賑ひの中を六連發の短銃を以て徘徊してゐるのを熊本署の大塚刑事が發見して咎めた所同刑事に發射して輕傷を負はせたが格鬪の末遂に逮捕された

■妖怪のやうな村　佐賀縣西松浦郡黑川村大字黑潮部落は四十四年中地底に異變を起して家屋が墜落する程の龜裂を生じ地勢を變化せしめたが此の頃又も俄かに小山が現はれたり深い凹所が出來たりして村民は避難してゐると

■小心な男　岡山縣赤磐郡小野田村役場兵事書記小野田力夫(四一)は先頃村會議員の候補に立つたが落選したのを悲觀し十六日夜家出して縊死を遂げた

■困つた少女　東京深川區入船町菅野ちよ(一五)淺草區地方今戸町笹崎春江(一五)赤坂區青山高樹町若尾ひさ(一三)の三名は共謀して三越、白木屋等で百二十餘圓を萬引して活動見物中を捕はれた

■下山客の怪我　靜岡縣駿東郡玉穗村馭者高橋與三郎(五三)は十五日客馬車に富士登山の下山客五名を乘せて太郎坊と馬返しの間を進行中馬車が轉覆して乘客全部重輕傷を負ふた

●妓生學校を見て
女子高等師範學校職員生徒の一行

東京女子高等師範學校職員生徒の一行は十八日午前中女子高等普通學校に平壤竹田里の妓生學校及び普通學校を參觀したるが一行中五名は午前六時發の南浦行列車にて江西の古墳を見學し午後三時二十分平壤驛に歸著したれば引率官たる矢部理學博士竹島教授其他職員生徒一同は極めて元氣に奉天に向け出發したり因に記者は一行を平壤驛に見送りたるがプラットホームには上野高等女學校長小杉女子高等普通學校長事務取扱東京女高師範の卒業出身の夫人三名女教員四名等何れも同窓生の縁故を以て見送り居りたり

▲竹島教授の談話　一行の出立間際に矢部博士及び竹島教授に平壤の見學について如何でしたと聞くと朝鮮に來て各地見學視察しましたが平壤位良いところはないと思いました生徒一同も釜山についたときは日本と餘り變りないと云つて珍しがつても居りませず京城ではもう夢中で何が何やら充分なる觀察も出來なかつた樣でした又我々から見ますと京都の如く將來の發展など、云ふことは望み得べきものないと感じました其れに反して平壤は實に規模擴大にして地の利を得てゐる將來の發展は恐らく朝鮮隨一であらうと思います又生徒等一同も平壤の偉大なる風景には一驚を喫したるもの、如くわけて各學校を視察しても新しく目に映じたものが多かつた樣でありました殊に妓生學校に行つて珍しき歌を聞き踊を見粗末な樂器を輕妙に使用するのには一同は更に深き興感を引いた樣であります中にも劍舞を見ましたが活潑で雄壯であると一同話して居りました然し室内の穢汚なのには驚いて居ました(平壤)

●滿潮時と注意

仁川の海は干滿の差が甚しい爲め月尾島海水浴場も猫島も干潮の際は水泳が出來ない夫れが爲めに折角京城方面から海水浴に出て來ても滿潮迄三四時間も潮待ちをせねばならぬ今後日々の滿潮時を掲載する事にするから其の時間を見計つて海に出るが宜からう因に商業專修學校生徒には學校から滿潮時を報知する事になつて居るから父兄は出來得る限り其の時刻半時間前頃に家を出る樣注意して貰ひたしと

▲二十四日　午前七時五十五分午後八時　▲二十五日　午前八時二十二分午後八時三十九分　▲二十六日　午前八時五十五分午後九時十六分　▲二十七日　午前九時三十九分午後十時五分　▲二十八日　午前十時三十八分午後十一時十三分　▲二十九日　午前十一時五十五分　▲三十日　午前零時三十分午後一時二十四分　▲三十一日　午前二時七分午後二時四十九分

右は滿潮時を示す者であるが尠く共滿潮時の前後六時間位ゐは水泳に適するから明二十四日は午前は十一時頃より、午後は四時頃より、二十九日の日曜は午前九時頃より午後三時頃迄の日中が水泳に適して居る(仁川)

●皿を毀りて縊死

平安南道成龍面吉祥里一統二戸農女宋小姐(二二)は前年孟山郡より嫁に貰はれ來りたる者なるが同女は農家の妻にもかゝはらず農業が嫌ひな處で平素から自分の夫に商賈をせよと勸めゐたが目下農繁期で思ふ樣にも行かずくよ／＼思ひ居る折柄本月五日午後二時頃炊事場にて皿を洗つてゐたが如何なる途端か皿を落して破りたれば舅は農業は働かず炊事をすれば器物を破る困つた嫁だと怒鳴りつけたれば宋女は腹だちまぎれに死んでしまふと決心したか同日の夕方吉祥里の聖人谷で松の樹に腰紐を縣けて縊死したり死體は翌朝檢視の上夫に下げ渡さる(平壤)

▲大根の胡麻和へ　大根(人蔘を一緒にすればなほよし)を千六本に切り鹽で揉んで堅く絞つておきます別に油揚の中身を削り去り外皮だけを細かく刻んで一寸茹で醤油と砂糖とで美味しく味加減をしておきます次に白胡麻を炒つて擂鉢でよく擂りそれに前にとつた油揚の中身を一緒に入れて擂りこみ砂糖と鹽と酢とを加へ更によく擂り前の品々を入れて交ぜます胡蘿蔔を細かく刻んで蕃椒の實のやうにして入れると一層おいしくなります或はまた廣芽や糸蕃椒なども刻み味をつけて入れても結構です酢の量が多すぎても又は不足しても味を損じますから少しづゝ加減を見ながら入れたがよろしいです

★サッポロビヤホール
櫻井町大正館前
五本庵出店
電話二三〇六番

演藝案内

黃金館　電話二三六七　六五二二　天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店　△七月廿日より中元御禮特別大興行　△新派大悲劇『涙の海』(全十八卷)　◎舊劇女忠臣藏女義士傳(全三卷)　◎米國ユニヴァサル會社作　泰西お伽『野花姫』(全三卷)　回豫告　其他實寫滑稽取揃へ…

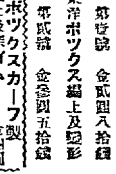
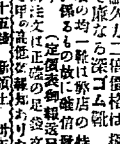
浪花館　明治町　電話二六〇　有名なる新講談伊藤痴遊師來る　當る七月二十三日蓋開　演題　秀吉の出世譚　御用商人山城屋和助　德川慶喜政權返上の始末　…

大正館　櫻井町　電話八七三　△チャプリン大會と餘興大會番組　七月廿日より特別興行…　滑稽活劇チャプリンのパン屋(全二卷)　滑稽活劇チャプリンの拳鬪(全二卷)　冒險喜劇チャプリンの怪潜艇(全五卷)　…　新派悲劇二代目兒雷也(全四卷)…

有樂館　早川演藝部經營　電話(階上)四九七番(階下)二〇五番　當る七月廿二日より公開　米國ユニヴァーサル會社十七分卷の内　▽滑稽『凸坊海濱の卷』　▽滑稽『愛兒』　○滑稽活劇『ノッポの手柄』　◎滑稽正劇『アリス嬢』　東京小林商會が苦心の撮映　▽舊劇『聖人坂銀杏の山家』　○新派連鎖劇『深夜の鐘』…

京城壽座　壽町　電話七五八番　東京新劇座女優山村都紀子一行　當る七月二十一日より七日間每日午後五時開演　大阪朝日新聞連載小說　▲母と子　入場料　特等一圓一等七十錢二等五十錢三等卅錢

▲山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢　京城本町　京城日報社代理部

特製東洋ボックス五圓一均　耐久力二倍の靴　三倉式經濟で優美價至廉　紳士向優良品ボックスカーフ製　編上及深ゴム　東京本郷區東片町九二　三倉商會高等靴店　振替二〇五三九・電話下谷一九七四

皮革　精米研磨革　綴革　動力帶革　靴原料　青象本底　釜山大廳町一丁目　三星商會　電話長七八〇番

あらゆる虫退治　田園ほいとり粉　室内の虫　植物の虫　動物の虫　定價十五錢　廿五錢　徳用四十五錢　一圓　東京本町三　里村商店

謹告　酷暑の候各位益々御清穆の段奉賀候陳れば最近諸原料騰貴の爲め午不本意乍來る七月二十五日より左記の通り一部値段の改正を爲し原料精選の上一層勉強仕候間倍舊御愛顧の程偏に奉希上候　敬白　▲もり、かけ蕎麥　金六錢　▲ざるそば　金九錢　▲五もくそば　金十二錢　▲あんかけうどん　金十三錢　▲カレーなんばん　金二十錢　▲カレー丼　金廿五錢　▲花卷そば　金九錢　▲おかめそば　金十二錢　▲天ぷらそば　金十八錢　▲天とじ　金二十錢　▲燒とり　金二十錢　▲金てん丼　金廿五錢　京城蕎麥商組合

致富之栞…商報…進呈　大阪堂島米穀取引所仲買人　片山致藏商店　堂島濱通一　電話長北六四三　一一〇〇　一一〇一

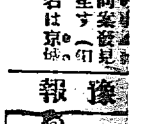
絶好の買場所　公債株式現物問屋　合資會社桐生屋　東京市日本橋區坂本町十八番地

白神洋行　京城　鐵鋼材　浪板、平板　針金、洋釘　新田帶革總代理店　ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他

てんかん　ヒキツケ　名古屋市中區南小川町　秋生館

月やく　東京本郷弓町二ノ三

曾我商店　大阪堂島米穀取引所仲買人



豫報

△投稿は後一週間以内に到着の事　△投稿者には五十錢書籍券を呈す　△何書何號と明記に限る　△宛名は京城日報社…

明君道中記

第二百十五席　田邊南龍口演

德之助は是を見るより突如飛込んで一刀を引抜きざま東馬の脇腹を臨んで突込みましたからアツと其處へ仆れる起しも立てず、上に跨り刀を取直して咽喉元を目懸け　德『養父の敵思ひ知れ』とブツリ止めを刺しました故東馬は手足を踠いたなり息は絶ねました、是を見て女房おなかは表へ飛出し　なか『人殺し／＼』と喚鳴りたから逃げて來る、處へ向ふから五人の侍が參りました是は所司代附の者　侍『コレ待て、人殺しとは何だ』なか『ハイ、妾の夫芭蕉屋庄右衛門が只今賊の爲に殺されました　侍『然て其の賊は如何いたした　なか『未だ居ります』ソレ行けと芭蕉屋方へ一同踏込んで參り座敷を見ると德之助は今止めを刺して懐中より養父母の位牌を取出して回向をいたして居りました、處へ役人がバラ／＼と飛込んで參り、ソレ賊を逃すなと各十手を取つて打つてかゝる德之助は後へ退つて　德『コレはしたり、拙者は物取りではなく親の仇を復したる者でござる　役『何に敵討だ、何ぞ證據があるか　德『證據と申して別に御覧に入れる物もござらん　役『證據がなければ敵討とは云はさん、役所へ參つて取調べる故同道いたされよ』と德之助を引立て所司代邸へ伴れ參り上役吉田仲太夫といふ者へ申し入れましたから、其の夜は揚り屋へ入れ置いて翌日白洲へ引出しました、吉田仲太夫正面に控へ德之助を見て　仲『コレ其方は名前は何と申すか』德『ハイ德之助と申します』仲『其方事芭蕉屋庄右衛門を殺して物取りでなく親の敵と申せし由、是には確とした證據もあるであらう又國は何處で如何なる仔細で仇討をいたしたか其事柄を詳に申し上げよ』德『私は伊豫大洲領須賀村名主德右衛門の倅德之助と申して同村治兵衛の養子となりましたもので』仲『ウム』德『然るに養父治兵衛事只今を去る七年以前、國元肱川堤に於て久留米浪人吉永東馬の爲に殺されました、私事十二歳の時より養父の仇を討んと諸國を巡り此の京都へ參り下立賣にて敵東馬を認めました處、芭蕉屋庄右衛門と申し町人に相成つて居りました故、直樣名乘つて仇討を遂げましたる次第でございます　仲『然らば仇討免狀を所持いたし居るか　德『左樣なものはございません　仲『免狀を所持いたさんといふは不都合なる次第、それも又敵なれば一刀斬付け置いて息ある内に敵討と名乘り出れば格別止めを刺すといふは死人に口無し理を以て非に陷ることを知らんか　德『東馬儀は免許皆傳の腕前、私は元百姓の身分にて劍術は知らず尋常に討合ひましては迚も敵はんと思ひまして刀を提げて參る故突如脇腹を刺して止めを打ちましたのでございます　仲『何にいたせ違つたいたし方、仇討とは思はれん　德『御疑ひあるなれば國元へお問合せを願ひとうございます』と申し上げました吉田仲太夫は　仲『それは云ふまでも無い此方に於て取調べる其方儀は吟味中入牢申し付ける』と德之助を引退まして此事を所司代板倉周防守へ申上げました、周防守は　周『仲太夫早速伊豫大洲の加藤家へ問合せる樣いたせ　仲『畏りました』と是から大洲の加藤家へ問合せになりまするさ、加藤家より七年以前九月の下旬肱川堤に於て百姓治兵衛夫婦が何者にか殺害せられた事實はあつたが、然し其の加害者は判明せず其の當時同村に居りし久留米浪人吉永東馬なる者其の夜より何れへか逐電いたし恐くは同人の所爲ならんかとも思はるゝ由の曖昧なる返事が參りました、乃で早速此の段を周防守へ申上げました。

七月廿五日　舊六月七日戊辰　本命八白艮納赤口　一九星

▲八白●野放圖の事有り新事見合せ東方は吉
▲九紫●氣勢よき日轉居旅行入門名弘家作求職金融證券買賣等萬吉
▲一白●不作法の事有り新事手控舊事は吉一切の謹事を慎す
▲二黒●他のせわ事にて迷惑せんとす新事手控舊事障礙は妨なし
▲三碧●姉妹衣を爭ふが如き事有り日謹んで新事手控舊の事は吉
▲四緑●狐され損の事有り新事手控舊事は吉買物に用心せらるべし
▲五黄●大力身の事有り新事手控舊事は吉散財を防がるべし
▲六白●理想叶ふ轉居旅行入學名弘建築求職金件婚禮金融商等皆吉
▲七赤●屈强の日轉居開業入學採鑛金件等頭婚禮乘馬を求る等萬吉

流經新藥　レスノリン
月經
消止四五ヶ月以内に於ける本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を達し其効果他藥に優越す藥價一瓶金一圓送料内地十二錢海外卅錢切手一割增説明書三錢切手添申越進呈　振替大阪二六三〇番
大阪北區曾根崎上一丁目三六地　發行所　常盤藥院

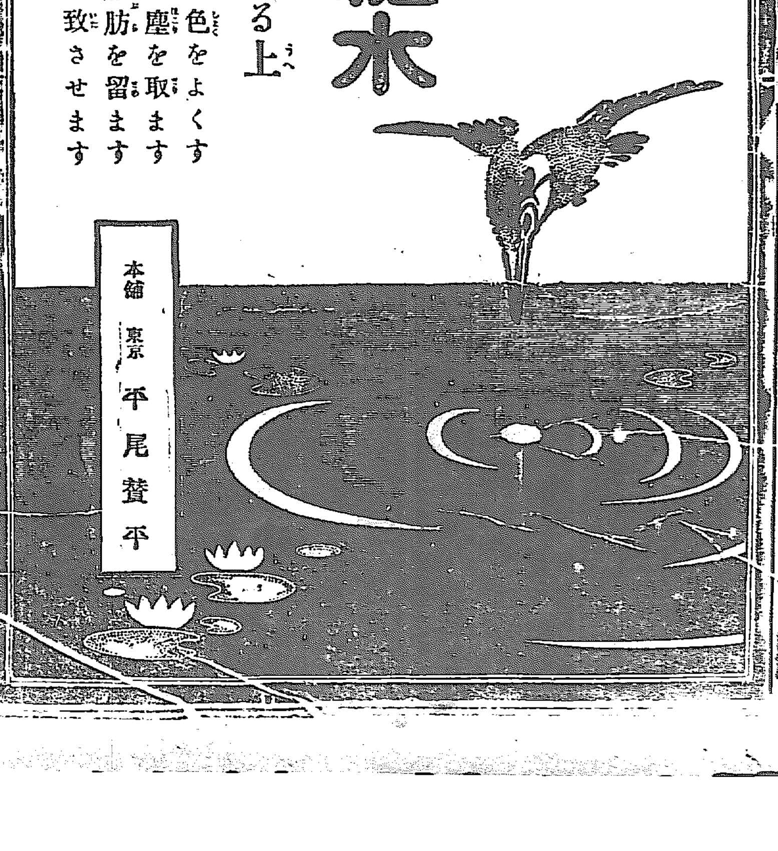
口人から　きらわれる　わきがを
▲根元まで今スグ全治なさい
ハガキで申込めば直に説明書無代進呈す
醫學界に名譽ある陸軍一等軍醫音尾博士先生
◎音尾博士先生發見
今スグなおせ
生は男女わきが病にてお困りの人をお助けせんが爲數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」と云ふ不思議にヨクキク信じ用さ責任ある藥を發見致しました是迄いろ／＼紙實任な一寸素人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人も彼是迷わず一日も早く此化學的藥物新療法にて全治の御身となられよ此藥の有事を知らぬ人はお氣の毒です今早く申込なされよ
東京府下淀橋町柏木百貳拾番地　東京博愛藥院

志らがナイス　赤毛染
色も艶も申分ない
志らが染はナイスが第一
ナイス五大特色
■僅二十分で染る、■毎時迄も永く保ち、■艶々と黒く美しく、■襟枕に浸着せず、■用法至極簡易、
大瓶七十錢　小瓶四十錢　男子用三十錢
發賣元　大阪　東京　丹平商會
到る處の藥店化粧品店にあり

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
内科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏

一番よくきく　かぜねつさまし　一ぷくにて　きゝめある
キナピリン
かぜ
價拾錢　廿錢　五拾錢
本舗　大阪　高橋盛大堂藥局

宮内省御買上品
原料香水　毎日一滴づゝ……清らかな涼しい匂い……終日爽快!!
毛髮の汗臭くならぬ樣
オリヂナル
本舗東京　安藤井筒堂
代理店大阪　藤森源之助

お肌を清爽と
日焼を防ぎ脂肪を去る
レート乳白化粧水
附けて「清洒と美くしくなる上
▲毛穴まで開いて血色をよくす
▲絶体に日焼を防ぎ塵を取ます
▲お顔に浮き出す脂肪を留ます
▲白粉乘を殊によく致させます

本舗　東京　平尾贊平

天下一品
白鶴
増本酒店
仁川本町三丁目　電話一〇九番

キク！キク！
大學目藥
ソコヒの外はどんな眼病にも
驚くほど能く効くこの藥
大阪　參天堂藥房發行

髮の艶と形とをこんなに好くする！
髮結さんの大評判となつた
植物性美毛料
ホーカー美髮液
今迄誰人もモツトいゝ油はないものかと思つてゐた、其要求に應じた美毛料で、中には髮の質を毛髓まで良くする原料を含み、永々しい黒髮とし髮の形を永持させる衛生美毛の最上品です
■髮結競技會專用品■
特効
●髮を黒く艶々させる
●髮の髓まで營養を與へる
●チヾレ毛ケセ毛を直す
●粘らずサラ／＼と心地よく
●毛の發育とのびとを助ける
●フケを去り抜毛を止める
定價　小瓶廿五錢　大瓶五十錢　送料（内地無料　滿鮮廿錢）
髮結さんの評判をお聽き下さい
最寄の店に品切れの節は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい
ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髮液　ホーカースポート
本舗　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店
（電話神田特長一四三四、一四四五　振替口座東京一五六六番）

第三千五百四十號（一） THE KEIJO NIPPO 大正七年七月二十四日 （明治四十二年八月十九日第三種郵便物認可）

京城日報

七月廿四日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 前金に限り三ヶ月分金一圓六十錢 [illegible]
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲六號活字二十字詰壹行金六拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話 [illegible]

京城日報

歐洲戰爭と交戰諸國の陸軍
國民動員と婦人活動（三）

既に兵員徵集の一面より見て交戰諸國に國民皆兵の實あるを說けり。更に進んで國民動員の實況に及ばんとす。戰局擴大し、戰期延長し、戰場兵員の增大するに伴ひ、軍需品の供給を第一として文武官廳の事務、運輸通信、軍需工業に要する諸原料の採取及精製、國民の給養等戰爭遂行上緊要缺く可らざる業務は益々滋繁を加へ來る。而して之れ軍國の最も重大なる要務たり。最近に於ける交戰の狀態は戰線に於て斬りつ張りつの戰鬪に依りて其勝敗を決せんとするよりも、寧ろ戰線に於ては塹壕堡壘に據りて相對峙し、其後方に廻りて軍需品の供給を防害し、國民給養の途を絕ち、其國勢を傷け其兵力を殺がんとするに專なるの狀あり。されど戰線に於ける兵員の補充急を告ぐるの秋に方りて、屈強なる男子を以て直接戰鬪勤務に非ざる此種業務に從事せしむるとは一國人物經濟の上より見て到底許さざる所なり。即ち此種の必ずしも屈強なる男子を要せざる業務に對しては、兵役に服し得ざる男子をして代はらしめ、屈強なる男子は之を戰場に送らざる可らず。國內に於ては何等戰爭遂行上に關係なき業務に從事するもの多く又は無爲徒食の無職業者尠からず。此等を徵募して國內人員の按配を適當ならしむるは國家危急の際に於ける當然の處置たる可し。於是交戰國中の主なる諸國に於ては其全國民を擧げて直接戰鬪勤務若くは戰爭遂行上必須なる事業のみに從事せしめんとする所謂國民動員の實施を見るに至れり。依之政府は全國民を使用する權を一手に掌握し一方戰爭遂行に必須ならざる事業は之を全然中止若くは縮少せしめ、苟も事業として軍國に無用の事業無からしめ苟も男子として一人たりとも軍國に無用なる働きを爲さしめざるの計畫なり。之れを一言に蔽せば戰爭遂行上最も有效なる如く一國の全人員を統一使用せんとするに在り。

獨逸は最も早く之を實施せり。即ち千九百十六年十二月五日祖國勤務補助法と稱する法律を發布し強制服務せしむるの權能を有せしめたり。之に次ぎたるは英國にして一千九百十七年二月十二日國民勞役と稱し志願者募集の方法を採り、應募者なければ宰相は更に強制法を制定すべしと聲明せり。佛國は全然獨逸法に倣ひ國民動員なる名稱の下に千九百十七年二月十日法律案を議會に提出せしも未だ通過を見るに至らざるが如し各國固より其國情に依り多少の相違ありと雖も、其目的に至りては皆同一にして之を以て國家の戰爭能力を向上せしめんとするに外ならず。

說いて此に到り吾人は更に轉じて交戰諸國に於ける婦人の活動を論せざる能はず。上述の國民動員は男子に對する強制若くは半強制法にして婦人に對しては諸國皆自由意思に任せり。然るに交戰諸國婦人の活動は直接間接に戰爭遂行上に利益しつゝあること想像以上に在り。現下婦人活動の範圍は頗る擴大せられたり。軍需品の製造、造船職工、陸軍の補助勤務、軍馬の調教、彈藥運搬、散兵壕の掘開の如きより巡查、消防、鐵道及電車の從業員、郵便配達人、道路掃除、煙突掃除、窓掃除其他農事、銀行會社各官公衙の事務員の如き數へ來れば殆んど際限を知らざる凡百の職業に亙れり。而かも報國の赤誠は能く婦人をして豫期以上の劇務勞働に堪へしめ、熟練又大に見るべきものありとせられ、其成績に於ては殆んど男子と選ぶなきが如し。近來婦人社交界に於て出征せざる男子を擯斥する傾向は英佛に最も著しきが如く、之が兵員徵募上に利する所頗る大なるものありと聞く。殊に英國に於けるヴイカース婦人職工隊の如く上流婦人が無報酬にて兵器製造に從事せるは特に讚賞に堪へざる所とす。或は傷病兵の看護慰問、出征家族、避難民、失業者の救護事業の如き、健質なる婦人の活動に因り、物質的に於ても將た精神的に於ても國家に報ずる所少々ならざるの實例を見るなり。吾人は此等の實例に鑑み將來の戰爭は必ず一層婦人の活動を要求すべきを信じ、國一般婦人界に於て今日此覺悟の必要なるを力說せんとするものゝ也。

誰 (21)
布施生譯

鈴富は此上何と辯解しやうかと暫時思案したが俄に思付いて『あゝ、あの小使、中央銀行へ金を受取りに往つた小使を調べて下さい、私はあの金をあの時確に金庫に收ひましたから。』『小使も調べる、君は一先づ歸れ、歸つてよく思案するがいゝ。』『鈴富樣………しやう。』

鈴富の使で中央銀行へ往つたと云ふ阿守小使は足を挫いて此二三日ジユボア病院に入院の身であつた。丁度眼が覺めてゐた阿守は檢事の來るのを目敏く見附けて『あゝ、鈴富樣の一件でございますね。』『そうだ。』それから檢事の問に應じて答へた當人の身分調查に據ると、此小使名を阿守芳造と云ひ齡は四十歲でまだ獨身である、檢事は訊問を續けて『保部銀行で盜まれた十四萬圓を中央銀行から持つて來たのはお前か。』『左樣でございます。』『銀行へ還つたのは何時頃か。』『五時頃でした。』『其金を鈴富に渡すと鈴富はどうした、大事な事だから、よく考へて正確答へなさい。』小使は少し動顚して『はい〳〵一寸お待ち下さいましそう〳〵私がそれを渡しますと鈴富樣は、――そう〳〵其紙幣數を數へて四束に分けて――そう〳〵それを金庫に入れて――そう〳〵金庫を閉めて、――それからそう〳〵鍵を懸けて出て往かれました。』『乾度そうか』小使は其儼めしい語氣に氣を呑まれたらしく『乾度？左樣でございますね、確かそうだつたらうと思ひますが、いやしかし覺違ひかも分りませんでございます、はい。』檢事は病院を出ながら『こりや中々難事件だわい。』

※　※　※　※　※

美那子の隱れた大佛屋と云ふ旅宿兼下宿屋は幸町にあつて荒木三寅と云ふ中婆樣の經營である、此婆樣昔は鶯鳴かせた事も有つたらうが今は艶もなく小肥りに肥つて其又肥胖が修飾坊の婆樣には苦勞の種になつてゐる、三年前阪探偵が小さい私立の安信所を開いてゐる時分荒木婆樣は其近所で小さい荒物店を出してゐたが、大分懸貸をした顧客の樣子が此頃少々變だといふので惡意づくから阪に其內偵を賴んだ事がある、それから近しうなつて、婆樣が旅宿を開業すると同時に、阪は此家の下宿人となり次で安信所も閉ぢて豫てから關係のあつた警察に奉職した、阪は元來人柄な男だから外の下宿人も近所の人も阪が警察に勤めてゐる事は知らないらしかつた。阪は又此の下宿人と謂ふよりは寧ろ家族同樣で今夜も阪は九時過に歸つて來ると其儘主婦の部屋へ這入つて來た、主婦はそれを見ると莞爾して『おやお歸りなさい、遲いのね隨分。』

日報詩壇

○自嘲　泰州　田淵
德薄才疎讓敎人。他鄉歲歲背雙親。生平傲岸不曾省。子泣饑兮妻泣貧。
評曰 悲慨之中、多剛勁之氣、

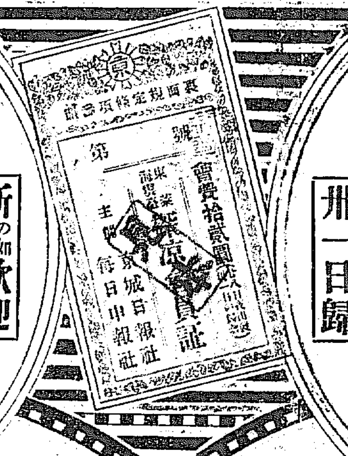
○偶成二首　齋藤　三寅
稜稜鐵骨裏吟袍。氣躍天涯絕俗交。誰識此身嘆伏櫪。呼牛喚馬任人嘲。
評曰 無限感慨

東萊海雲臺
探涼大會

廿八日發
東萊海雲臺探涼會の準備全く成り會員も今亦將に豫定數に達せんとして居ります。朝鮮側は貴族紳士、日本側は官民紳士を網羅した團體が探涼の首途に上ぼるのも僅かに五日を剩ます許り

會費僅に十二圓
會員としては老若男女の制限なく家族的御入會は最も歡迎する所、お子供は滿四歲以上十二歲迄は會費として八圓丈け頂くことになつて居ます。二日間の淸遊、海雲臺の水！東萊の山！

卅一日歸



南鮮各所の
優待歡迎

斯の如き歡迎
鐵道局の好意で團體乘用列車は新造美麗のものを增結し猶ほ座席に十分の餘裕あらしめ恐らく普通二等以上の乘心地であらうと思ひます。更に海雲臺では探涼團優待の爲め新たに海水浴場に構及び脫衣場を設け生ける鮮魚を饗し更に全團員に奇拔なお土產を呈上する趣向又東萊では官民一致歡迎門、園遊會場設備に熱中猶數十名の妓生提供。釜山では五六有志の贈物があり升

誠意溢るゝ接待

斯の如き優待

東萊温泉

海雲臺

巖谷小波先生序 岡田をみな畫伯著
をさな物語
鳥啼く里
表紙箱頗艶麗 口繪色刷數葉 揷畫百五十餘 十數度刷
二十有三年、老いたる兩親と幼き弟妹を抱いて、生の爲めに世の荒波と苦鬪したるうら若き著者は、人生の春の儚なく去りし悲哀を慰めんと、時に觸れ折につれ書き集めしもの。艶麗なる紅筆の跡！輕快なる口語詩は何人も幼な當時を偲ばしむる銷夏讀物にしてまた少年少女の娛樂の友なり……（定價金壹圓）
東京神田表猿樂町二番地 賀集文樂堂 振替口座東京二〇二二九番

トモダチ 臨時增刊 ポンチ號
文學士寺田精一先生監修
○美しい ○面白い こどもの第一等
（手工附錄）オフネ、ハギッチラコ
□お月樣と電話□嬉しかつたと思つたら□ハルサントポチ□大わんくわい□飛行船と星□其他いろ〳〵
一冊十二錢 郵稅五厘 六冊七十錢（郵稅共） 十二冊一圓卅錢（郵稅共）
東京麹町富士見町 二葉社 振替東京一二六〇六 電話番町四〇五八

●開業廣告
私儀此度總督府醫院を辭し左に開業仕り候
京城府光化門通り二一三番地
產婦人科 小兒科 內科
戸川醫院
（普通產及び難產の需に應ず）
女醫 戸川錦子
電話一七四番

理學博士丘淺次郎先生序
海軍中佐若林欽先生著並畫
新刊愈發賣 四六判四百餘頁揷畫七十個 定價一圓五十錢送料八錢
面白い科學の話
著者は夙に博識能文を以て聞ゆ又繪畫に巧なる人海軍出身以來內外各地を巡航し幾多の妙景に接し自然の奇觀を縱まゝにする所必ずや之を美文彩筆に盛り洛陽の紙價を貴くす本書は其蘊蓄の一端に過ぎざるも博く學上珍奇の好著にして文辭流麗趣味津々たる科學の研究盛なるの今日何人も一讀を要となす。本書の價値は丘博士の序文により遺憾なく證せらる。

醫學博士 高木兼寛男題辭
文學博士 澤柳政太郎序文
文學博士 井上哲次郎序文
香川縣女子師範學校教諭 後藤靜香先生新著
四六判四百四十頁裝幀優美 定價一圓二十錢郵送料八錢
女教員の眞相及其本領
本書の三大主張
女教員の眞相 識者は先づ本書に來つて、赤裸々に暴露せられたる其の眞相に觸れねばならぬ。女教員は固より凡ての學校長凡ての男教員を始め、苟くも女教員問題に就て論ぜんとする者は。
女教員の本領 善の根本は、女教員自から其本領を自覺し、其本領を發揮するにある。學校長も亦其本領に於て之を使用するにある。本書は幾多の實例を擧げて其本領を描き出でたるもの。
女教員の福音 同情溢るゝ全人格より湧き出でたる、精神的修養書である。本書は「女教員の教師」を以て自任せる著書の一言一句が女教員の指針であり光明であり、福音である本書を有するは女教員の誇である。
發行所 東京市麹町區平河町五丁目 振替口座東京二〇九一四番 洛陽堂（電話番町四二五八）

京日案內
普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一圓（匿名一圓五十錢增し）
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料封入の事 ▲問合の節は必ず數字の番號御記入を

普通
▼印刷と製本 ▼正確で廉價なる 印刷部へ ウツボヤ 224
●貸船 卅五人乘四圓五十錢より十一圓迄 廿五人乘三圓五十錢五圓迄 龍山漢江川岸 伊藤取次 電話二二七 321
▼寫眞修整技師及助手入用 希望者至急照會あれ 仁川本町 井上寫眞館內 的野 325
▲見習看護婦入用 南大門通り 農銀裏 電話三〇六五 司生堂醫院 303
●看護婦至急募集 派出多忙 希望者本人來談乞ふ 南山町一ノ一六 電話一四四一番 中央看護婦會 304
▲金融 月收の方に極秘信用迅速融通御相談に應ず 京城花園町八七 大和屋質店 302

番外
●女事務員名募集 高女卒業程度 希望者履歷書携帶本人來談 午前中 黃金町二丁目 有隣生命朝鮮支部 315
恩給年金立替 一月利一分 何年分でも特別御便利に御相談可致候 京城若草町一百六番 電話三〇一 西村商會 303
京城春川間自働車 乘合賃金片道四圓 ●京城發前八時 ●春川發前八時 京城水標橋通り 電話二一三八番 春川京城自働車商會 松田壽男 263
魔法瓶及魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 電話一三四番 高木旅行用具店 323
●礦物定量分析 太平町二丁目二二五 朝鮮公論社左横小路 電話長三四四 坂元分析所 322

範模 牛乳 ニウソ 石鹼 洗粉
主事 電話 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五二番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成低廉を旨とし御高需に應ず
京城日報社寫眞製版部

最新刊

書名	著者	定價
印度及印度人	左野甚之助	一、五〇
支那語自習完璧	東亞社	一、四〇
海外交通史話	辻善之助	一、二五
禪學質疑解答	原田祖岳	一、二〇
定石くづし	胡桃正見	八〇
野球年鑑	大阪朝日新聞	四〇
此の一手	高橋清致	六〇
三坪花園	今村猛雄	五五
道	高濱虛子	八五
光源氏の一生	高須梅溪	六五
祇園双紙	吉井勇	六五
青葉若葉	近松秋江	五五
幡隨院長兵衛	碧瑠璃園	一、三〇
獨歩書翰	獨歩	五五
涙香集 わらわの罪	黑岩涙香	一、二〇
山嶽旅行秘訣	紫陽道人	六五
化粧の巻	水島幸子	一、〇〇
一橋揷話	清水福代三	七〇
日本青年鑑	五理庫三郎	一、三〇

京城本町一丁目 電話六〇四番・六〇六番 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

十時相場電報（第三版）

二十三日前場（晴）[illegible]

▲二十三日 [illegible] 二十二圓九十四錢大阪寄七十一錢の大電にて[illegible]來不申先二十四十一錢相場の保合に市場[illegible]（四錢と引締め[illegible]）

十錢東京 十六錢後 十錢中出 たるも又復 [illegible]

▲今 同店の賣四五百石買三千餘石
▲㊃ 同店の賣四五百石買二千餘石
▲仝 同店の賣三千餘石買三四百石
▲百 同店の賣四五百石買千餘石
▲㊂ 同店の賣二三百石買千餘石
▲一 同店の賣千餘石

▲後場當限戰 後場第二節に於て當月限今賣買出にて千石十九圓二十錢にて賣買行はれたり斯る大節にて今前場帳入にて一萬四十八百石の取組高なりしが一萬五千八百石に增加すべく尙多少增

▲仁川現物界 黃海玄米十九圓三十八錢 忠淸玄米十八圓七十錢同神力十九圓四十錢 [illegible]三千六七百叺出來たり 保合にて [illegible]

廿三日の九月限

寄付	二十圓十一錢
止メ	二十圓十三錢
高値	二十圓十四錢
安値	二十圓十一錢

賣買取組高
七月限 一萬四千八百石
八月限 一萬[illegible]千九百五十石
九月限 四萬[illegible]千五百石

平北新義州[illegible]の店員として[illegible]本年四月十四日同家に大阪より代金引替にて金物[illegible]き際[illegible]京城地方法院に押送されたり

○露國首相更迭別報

紐育來電に依れば露國首相リユウオフ公辭職し陸海軍大臣ケレンスキー氏後任となれり氏は社會黨の領袖にして本年三十五歳の青年政治家なり(東京特電)

○陸海軍は首相の兼攝

政府の戰意鞏固なり

露國新首相ケレンスキー氏は陸軍大臣海軍大臣を兼攝する露國政府の主戰的意志鞏固なるものと觀察さる(倫敦電報)

○ケ將軍快刀一揮の概

過激黨員中數名の首領を捕縛す

露國首相リユウオフ公の辭職は黎明迄引續きたる紛亂的閣議の結果に外ならず戰線より歸來せるケレンスキー氏は直に閣議に臨み最近勃發せる事件に對する閣員及び軍事當局者の措置を攻擊し何故全力を盡して國內叛亂の鎭壓に任せざりしやと痛憤なる口論もて糺彈せり能氏は露都司令官を革職せんとせしも不仕末の責任者が事實上閣員に外ならざるを聞き之を思ひ止りたり而して更に氏は獨探と關係を有する總ゆる徒黨を捕縛せん意あるやにて既に過激黨員中數名の首領を捕縛したり尙叛亂を企てたる聯隊に最早解隊したり(露都電報)

○勝利者として和を講ぜん

獨逸新宰相演說別報

獨逸新宰相ミハエリス氏は十九日帝國議會にて處女演說を試みて曰く「獨逸は露國の動員に依りて心ならずも干戈を執るを餘儀無くされ吾人の餓死を目的とする英國の封鎖政策は吾人をして潜航艇使用を止む無くせしめたり獨逸は勝利者として且つ遂に屈服せしめ得られざる者として和議を提出せんと欲す吾人は互讓的精神に基く理解に依り本國並に殖民地に於ける獨逸帝國の現狀を保障せざる可からず(紐育電報)

○露獨兩軍砲戰激烈

諸種の報道を綜合するにスモルゴンクレブオ地方にて激烈なる砲戰行はれ居る如く獨軍は數百門の大砲を集中し居れり(露都電報)

○淸室優待と各督軍

淸室處分に就き段總理は各省督軍の意見を徵したるに孰れも優待條件を廢す可しとの意見なるを以て段總理は之を國會にて議決せんとし暫く實行を延期したり(北京特電)

新たに露國首相となれる　ケレンスキー氏

○滿鐵炭價値上

滿鐵會社の石炭販賣方針は內地炭價

船腹不足の結果著しく昂騰し今後益々强硬の氣勢を示しつゝある矢先滿[illegible]地との間に於ては金銀相場の差額よ[illegible]

の聯絡には何等の變動を見ざるも內[illegible]

而輸出の炭價は現今約二圓方の値上を實行しつゝあるも鮮鐵を始め其他[illegible]

後約一箇年位を要するを以て本年は出炭量を減殺せる事實に甚大なる[illegible]

維持は全く不可能なれば結局諸般の調查會議を了し値上げを斷行するに[illegible]

○對獨宣戰布告と希望

北京政府は馮國璋氏北上後直に對獨宣戰布告の筈なるも條件は別に提示せず唯希望として段內閣維持に關する聯合國の同意、第二次借款成立盡力を請ふものゝ如し(北京特電)

○英人稅關吏著任

支那稅關吏として英國人十名漢口に到著せるが中三名は同地在住となれり之れ獨逸人を罷免したるが爲めなり(漢口電報)

○臨時教育官制

臨時教育官制は二十五日發表の筈(東京特電)

○總督參內

長谷川朝鮮總督は二十三日午前十時參內　天皇皇后兩陛下の著中御機嫌を奉伺したり(東京特電)

觀瀾亭雜俎　(三)

蘇峰生

○獨逸首相等辭職の電報や、其の詳細は知る能はざるも、斯くある可き筈也。何となれば獨逸政府は、從來其の國民を欺き居たれば也。否な其實は獨帝自から欺き居たりし也。

○孫子は己を知り、彼を知れば、百戰百勝と云へり。己を知る點に於ては、獨逸間然なきに庶幾し。但だ彼等は己を以て他を料り、爲めに非常なる謬算、違算、失算に陷りたりしのみ。即ち彼を知るの一點に於て、獨逸は全く其の心理的缺陷を暴露したり。

○今回首相等の辭職の動機は、對露外交の失敗に歸因したるが如し、蓋し外相チンメルマンは、露國に向て、單獨講和を期待し、其の豫算が見事に外れたるが爲めに、一波萬波を動かし、遂ひに國內の大不安、大紛擾を醸したりしのみ。

○されど是豈に外相の外交失敗の罪ならん哉。由來獨逸人は、他人の思惑を忖度するに於て、一種の心理的錯誤を有せり。彼等が當初輕々に露國に對して、動員したるものは、英國の袖手傍觀を、豫期したれば也。彼等が日本の國旗、及び日本人に向て、曖昧を放ちたるは、日本が此擧に乘じて、露國の後を衝く可く、豫期したれば也。彼等は自から知るの明あるも、他を解するに暗らし。是れ畢竟手段、方策の齟齬にあらず。彼等が固有する心理的一大錯誤也。而して其の結果は三年の辛苦、百戰百勝して、却て全局の大敗を來しつゝある也。

○補缺議員當選

宮城縣選出政友會代議士齋藤二郎氏は二十二日逝去せるを以て次點者憲政會村松龜一郎氏當選すべし(東京特電)

○三品取引所休業

三品取引所證據金定刻迄に納まりしも仲買人帳簿整理等の爲め二十三日午前十時臨時休業の旨發表せり(大阪特電)

○佐連線の修理

障碍不通中の大連佐世保間海底電信線修理のため遞信省作業船沖繩丸は二十一日大連に入港途中小坐礁をなせると同日及び二十二日の天氣平靜ならざるため未だ障碍現場に出航するを得ざる由なれども多分二十三四日中には發航すべきかとの意味の電報其の筋へ達せり

○繭價百圓臺突破

横濱市場に於ける生絲相場は其後ひた押しに奔騰し二十一日に至り信州上一番先約物千五百五十七圓當場限千六百二圓てふ空前の高値を顯はし而も氣配强硬にして前途引續き昂騰の見込なるが生糸界の好調に連れ朝鮮に於ける繭價の相場も益々暴騰し南鮮地方は既に資盡しの狀態にて目下は北部地方交通不便の地に於て取引行はるゝに過ぎざれども京畿道抱川に於ては去る十八日最高十貫百五圓最低七十四圓五十錢平均八十五圓てふ突飛なる相場にて取引行はれたりと

○泰川水路破壞

平安北道泰川郡に於ける東拓經營の灌漑水路は本月十四日豪雨の爲め水源河川の增水十三尺五寸に達し引入口の防水堤百五十間決潰流失せる他昨年秋頃加工せる堰四十間流失せり

○秋山大將動靜

北鮮部隊檢閱巡視及び地理實查の爲め本月九日龍山を出發したる軍司令官秋山大將一行は豫定の如く元山羅南淸津會寧等の各部隊を順檢し二十日慶興守備隊を檢閱し二十一日雄基二十二日地境二十三日梨津二十四日富居等を經て二十五日再び淸津に戾り二十六日午前十時淸津發二十七日午前九時四十五分元山發同日午後五時龍山驛歸任の豫定なりと

○國澤副總裁入京

事務の引繼を受くべく

國澤滿鐵副總裁は鮮滿鐵道統一委任事務の引繼を受くべく多數の社員を隨へて二十三日朝奉天發二十四日午前八時南大門驛著入京の筈

○白水參謀長出張

軍參謀長白水少將は參謀岡少佐を隨へ二十二日午前八時四十二分龍山驛出發鎭海灣重砲兵大隊第二期檢閱視察並に地理實查を遂げ來る二十七日夜歸任の豫定なりと

○臨時參議院召集

段內閣は憲法問題の解決及び國會組織法の改正を行ふ爲め民國建設當時の例に倣ひ參議院を召集するに決し二十一日各省の意見を徵す可く電報を發せり南方各省は尙反對を唱へつゝあるも北方の多數は贊成なり(北京特電)

○張勳を死刑に處せん

對獨斷交の曉―段總理の計畫

支那對獨宣戰實行は著々準備進行しつゝあるが愈々斷交の曉は直ちに張勳氏の引渡を要求し逆賊令に照し死罪に行ふ可く段總理側は計畫し居れり(北京特電)

○獨逸議會戰費可決

獨逸帝國議會は百五十億馬克の戰費に對し討議を用ひずして協贊を與へたり(倫敦電報)

○富塚聯隊長入京

步兵第七十八聯隊長富塚大佐は二十三日午前八時五十分南大門著列車にて入京す

○分隊長著任

新任朝鮮駐剳憲兵分隊長春川隊附中尉前川淸同眞木貞一鏡城隊附中尉佐々木格太郎の五仁義海州隊附中尉同高橋庄一同柏木氏は二十二日內地より來京廿三日朝司令部に出頭し著任挨拶を爲したるが一兩日中夫々任地に向け出發の筈

○中野課長出張

警務總監部保安課長中野有光氏は東京大阪を主とし約三週間の豫定にて事務視察の爲め二十五日夜の南行列車にて內地に向け出張すべし

○田中大尉補

龍山兵器支廠員工兵大尉田中辰策氏は陸軍士官學校教官に補せられ不日赴任の豫定也

口蛄蟖虫の新驅除法　(承前)

陸軍三等軍醫正　村田康太郞氏講演

余は數年來松蛄蟖驅除法に思を潜め前記藥物の外尙從來行はれたる害蟲驅除藥及藥物本來の性能上害蟲驅除藥たるべき者に就て精細なる試驗を行ひたるに其効果何も充分なる能はず未だ意を充すに足るものなし偶々穀類貯藏中に發生せる害虫驅除法に就て研究し聊か得る所あり嚮に之を發表したり爾來江湖の注意を惹き官公署團體個人より照會續々として至り一々應答の煩を避けん爲め再び具體的實施を記述し之を新聞に揭げたる事あり其の際硫化水素の固形物と見做すべきCS_2を試製し本品を以て穀類貯藏中の害蟲豫防驅除に應用し(實驗中[illegible]る旨を述べ置きたり爾來著々良好の成績を擧げつゝあり本品の松蛄蟖に對する効果如何を試みたるに

▲意外の良成績を得るに至れり即ち本品十プロセントの溶液に粘滑藥を加へ其の百倍の液即ち本藥千倍の藥液により松蛄蟖は立ち所に全身變色し一二秒乃至四五秒或は後死滅す依て數千個の松蛄蟖を集め充分なる視察を遂げ後山野林の間松樹に遊ばする松蛄蟖に就て數ケ月に亙り詳細に試驗を遂げ其效力の的實なるを確めたり、凡そ敵を知り己を知るは兵法の要なり松蛄蟖の發育習性を糾し攻むべき日に攻め驅るべき時に驅るに於て其驅除亦容易なるべきを信じ之を成書に依り又自ら飼育し充分なる觀察を遂げたり今

▲其結果を綜合するに成虫は體長約四センチメートル翅の開張約七センチメートルにて黑褐若しくは黃褐色を有し暗褐色羽狀の觸角を有す幼虫は大なるもの四乃至八センチメートルにして黃褐色の線狀を有するもの灰白色の線狀を有するものゝ二種あり全身短毛を以て被はれ外來の藥液等之が爲め甚しく阻害せられ爲めに彼自身の甲冑たり足の吸盤甚だ强く殊に尾脚に於て然り故に死後と雖も尙枝條に吸著容易に離脫せず其發育習性を見るに毎年一回發生し幼虫は樹松若くは附近蘚苔の下に潜み冬眠す此時該虫は最纖弱なる時にして藥液の効最大なり一回若くは二回脫皮す脫皮後は皮膚軟弱にして藥効大なり三四月の頃樹上に登りて嫩芽針葉を喰ひ六月七月の頃老熟す此時該虫

▲體力最も强盛にして藥効不充分なり七月末日より八月上旬繭を作り食樹にあり蛹は黑褐にして三乃至四週を經て蛾化し蛾は黃綠色を有する楕圓形の卵子を葉又は枝に附著し八月下旬孵化す孵化後の幼弱なるは藥効最も著き時なり十月上旬食を止め隱所に入り越年す

の被害あり當局にては郡面協力の上之が驅除に努めつゝある由なるが其の方法として圃地の周圍に溝を作り之に墜落せるものを踏殺し或は其他[illegible]

せしめ又は巾五寸深さ一尺以上の溝を作り害虫の墜落せるものを壓殺し又は早朝或は日沒後葉上の幼虫を受虫器に由りて捕殺する等鋭意之が[illegible]

人事消息

▲廣島縣立高等師範學校生徒一行十二名原金に滯在中の處二十五日朝平壤に向ふ筈　▲寺師正平三氏(浦鹽貿易商)二十六日夜入京原金へ　▲篠田平南第一部長▲佐々木慶南第一部長▲大久保全北第一部長▲桑平北第一部長二十三日退京

鬱南言北語

昨日の本欄で露國陸相ケレンスキー君を獨探が狙つて居るから心配だと云つて置いたが▲果して同君がボロック町とかを通つて居ると襲擊されたらしい▲が、幸に彈丸は當らなかつたと云ふから先づ安心だ▲其うボロツクやられては堪らぬ▲而して其の危險を脫れたケレンスキー君は露國宰相となる相だ▲之れでお目出度い二つ重なつて愈々露國のロイド、ジヨーヂ君かね▲獨逸は講和を提議し相なが今度のは今迄とは違つて最眞目かも知れぬ▲最眞目にした處でなますを吹いて食ふ程協商國はビク／＼して居らぬからまあ出すものなら出して見給へだ▲承知するかせぬかは此方の勝手だ己は止すから貴樣も止せでは承知が出來ぬ▲露獨單獨講和なんて先づケレンスキー君が露國の要職に在る間は鳥渡心配はいらぬだらう▲其れとも獨逸が何にも投げ出して降參すれば協商國でも不服はない筈だ▲歐洲戰爭も何うやら目口が付き相になつたが替りまして替り甲斐のせぬのは支那だ▲何處迄彼の樣にごた／＼やるのだろう最も段總理は最う一度初めから民國の製造替をやり相にも見ゆ▲處が又々妙な問題が飛び出して居る▲北京戰亂の際京山から獨逸兵が張勳を助けて發砲したと傳へられて居るのはあれは虛言だと云ふ事だ▲と云ふのは京山に居たのは實際張勳兵で其れが却々頑强に働いた▲段君は早速其れを利用して彼れは獨逸兵だ慥に獨逸兵だと部下をしてパツと言ひ觸らさせたものゝや相な▲其れから南方側が段內閣は認めぬ彼れは約法違反だと云ふのは▲黎總統が日本公使館へ逃げ込んだ時は非常に狼狽して居て▲迚も馮國璋君に使をやつたら段君を任命する樣な餘裕のあり相な模樣はなかつた▲彼れも虛言だ造り事だと主唱して居る▲何方が何うだか知らぬが判つた樣で判らぬ樣で判り相なは支那の事だ▲まあ何うなるものか……

◎朝鮮總督府公文附錄

東京工科學校

電工、機械、建築、土木、採鑛、冶金　各科

一二三期及電工高等科生徒募集

一期小學卒業　二期中學二年程度　三期中學卒業程度の者　無試驗編入

○新學期九月六日　○願書九月五日限　○授業晝部夜間部　○規則要郵券二錢

東京神田錦町　振替東京三七一五番

少女畫報

□八月號　▲定價十八錢　▲郵稅一錢五厘　▲半年　▲一年

畫報
○原色版(心やさしき…)…渡邊文子
○オフセット版(玉の如し)…栗原玉葉
○睡蓮(三色版)　○涼味(三色版)
○涼しき岸に立つ少女○やさしい獅子
○風薫る椰子の並樹○水道淨水所見學
○木蔭に氷飮む姉妹○女學校の記念日
○高山の頂に立つ少女○少女庭球の姿勢
寫眞小說　双葉の露(境遇の變化と人物の活躍せるを見られよ!)

●美しき自然へ　高島平三郎
●ヒマラヤ高山の花　理學博士伊藤篤太郎
●暑中休暇の暮し方　棚橋絢子
●電氣を出す動物　竹島茂郎
●冷水摩擦は夏から　吉岡彌生
○今戸の孝女　○朝の庭
○雛から着物まで　○夏のお菓子
○蝶形エプロン　○花物語
○大磯だより(英文)　○百合の
(小說)▽美しい玉…水蔭　▽撫子姬…光子
▽四人姉妹…王子　▽銀の鍵…斷水
▽或日の夕…露雄　▽愛の花…花子

□東京京橋區治橋外　振替四千九百番　東京社

朝鮮總督府法定消毒藥

アイゼル液

無比の防臭作用と殺虫力を併有す

京城　井上藥品部

◎業務擴張上各地に監督所長を募る

希望者は郵券六錢封入速に左記宛照會あれ詳報す

本社　東京市麹町區麹町六の五　日本勸業貯蓄合資會社

支部　朝鮮平壤府陸路里二ノ六　朝鮮支部

最新發明公報ヲ見ヨ!

蓄音機ハ此レデ充分　一台金三円八十錢

クトウ蓄音機　專賣特許第二五六八〇號

形狀　高一尺一寸　長一尺二寸　巾八寸

特約店外交募集

農商務省特許公報に曰く
「本發明は普通蓄音機の如き(ゼンマイ)及齒車の如き破損し易き構造を用ゐず…價格低廉構造堅牢なり」

▼政府の公報に云ふ通りで安價な上に堅牢でしかも音聲は頗る明瞭です
▼動力は手廻しで小供にも能く取扱が出來ます
▼ドーナ廻し方をしても音調が整一なのが新發明の點です
▲大正博受賞後益研究を續け今回特許を追加し新たに世に出る
▼音譜さ針はどんなのでも用ゐられます

附屬音譜一枚　四十五錢　送料一臺　內地卅六錢(音譜送料は別)

東京神田區今川小路一丁目　製造元　藤屋商會　電話本局二七六六　振替東京三六二五五

して一定の炭價を持續し來りたるが近來内地に於ける炭價は産地に於て甚しき變動を見ざるも需要地にては…其理由につき探れば近來銀相場の暴騰せる結果之れに順應せるものにして對支那人との…る處に約五十錢内外の値上を見るに至れるが此れ決して内地炭價の狀勢に左右されたるものにあらず而して朝鮮方…

古い魚と濁酒に舌皷み
壽命の縮まるこの頃の浦鹽生活

『何しろ酒が飲ませんのでね』とかう前提しつゝ入京中の酒好らしい浦鹽のk君は語る『僕はドコぞ外の店に轉任させて欲しいですアハ……浦鹽でも禁酒令は段々八釜しく又融通が利かなくなります、以前は何人が密輸するのか清酒も若干は浦鹽にあり高い事は素敵だが飲めたものです、又鮮から上陸する時麥酒の一打位は

◆特に携行を默許し

て呉れたがそれが此頃は絶對に禁ぜられてゐる、之れも革命以來下級者並に勞働者の鼻息がムヤミに荒くなり其荒くなつた權力を有ゆる機會に示さうとする所より何でも彼でも嚴重になり出たかららしい、で私等も浦鹽に入つちや全く芳醇な清酒は飲めない、泡の立つ麥酒も口にされぬ露西亞の色々の酒も勿論である、唯僅に一週間に一回か稀に二回入つて來る日本の船を訪うて特に馳走に預る外はないのである、唯酒好きな多數の人間は

◆之れぢや辛抱出來

ぬと云ふ所より又料理屋などは酒一杯飲ます騷ゐだり女を買つたりは出來ないと云ふ所より例の比較的輕便に出來る濁酒を大きい聲では云へぬが密造してゐる、そのドブ六を澄まして飲むのだ、コイツ初めは到底口に適しなかつたが渇者飲を擇まずで此頃は櫻正宗以上の味がするから妙です、しかし之れは密造だから露國官憲に分ると甚い罰金の上に禁錮と來るのだから、其の

◆密造者も仲々危い

仕事だ、從つて其一合は露貨の五十哥吾が十七八錢から二十錢と云ふ相場、ドブ六一升二圓なぞは一寸お安くないのである、又かうした酒を飲ませる日本の料理屋は決して朝鮮や内地のやうに玄關からドシ〳〵客を上げる事はせぬ乃ち客は先づベルを押す、戸の内からドナタと來る、己だよと大きい聲で返事する、料理屋で此人は大丈夫と思はねば仲々入れない、これも危險なため大に警戒をしてゐるのである、それに又下物が甚い大阪商船の豊山丸が一週間に一回宛入港して魚類などを置いて行く外

◆浦鹽では皆目魚類

などはとれぬ、で十日に船が入つて魚を上げて置けばそれが十七日まで保存される勘定で、高い金を拂つて料理屋で食ふ下物が之れだから實にやり切れたものではない、浦鹽の料理屋で物を喰つて下痢したと云ふ人が多い、多分浦正（ドブ六の事）の故だらうと云ふがそれは恐らく間違ひで事實は古い魚の祟りらしい、御承知の如く露貨はドシ〳〵下るので物價は反比例に仲々上る、京城で一圓位の麥稈帽が浦鹽では十五留即ち七圓もする、ラケットは一個が四十留と云ふエライ高値を示してゐる

◆此の流儀ですべて

高いから從つて在留日本人の下級者は暮すのに仲々つらい、更に革命後内地では浦港の市中秩序紊亂して強盜殺人白晝公行されるやうに云ふ者もあるらしい、成程強盜も殺人もないではない、然し其の強盜殺人は日本でも米國でもドコでもある事だ、敢て浦鹽の強盜のみを大きく云ふ必要あらんやである唯勞働者と兵士の威張る事は大變なものである所謂勞兵乃ち勞働者兵士會の勢力と云ふ者は宏大で、埠頭の荷揚げを自分逹がしたくなれば

◆支那人や鮮人人夫

がやつてゐるのを追ひ散らしてやるそして荷揚げ賃の如き勝手に自分逹できめて高いものにしてゐる、又た勞兵會で土曜の仕事を午後二時までと云ふ事にきむればそれを市役所の命令として一般の實行を強ゆると云つた風である

議會中敵も味方も突き附けるので前後二百枚

も書いたといふ朝鮮仕込の蘭の露さ俳句は是れ

大塊翁近作の俳蘭

四百五十哩大飛行成功

雄飛號は二十二日午前十一時五分無事所澤の上空に雄姿を現はし成瀬飛行隊長等に迎へられて着陸せるが之にて所澤仙臺間四百五十哩の大飛行は成功せるものなり（東京特電）

主家荒しの職工

滋賀縣蒲生郡日野町生れ忠南大田春日町洋服商楠金三方雇人前科一犯巳代彦事澤田八郎（三五）は本年一月中同町田中淺次郎より金五十圓を借入れたる際相談もせず雇主を連帶借用人と定めて記名したる上僞造の印章を押捺して交付し尚四月中同家の洋服外十三點を竊取したる上集金したる洋服代金十圓をも横領したる一件は公州地方法院にて懲役三年の判決を受けしが不服として京城覆審法院に控訴せしも此の程棄却となれり

一家悉く泥棒

全南羅州郡鳳凰面烏林里趙日奉（三八）は去る四月下旬出刄庖丁を携へて同面臥牛里金德三方へ押入り金三錢を強奪し更に其夜同所朴文基方へ押入りたる折柄文基は棍棒を以て日奉を毆り付け強盜が反對に縛られ其まゝ其筋へ突出されたるが憲兵隊に於て取調の結果日奉は妻の金可莫禮（一七）及び實兄趙連永（三〇）の兩人も共犯者なる事を自白せしより兩人共逮捕したるが一家共謀し昨年末より強竊盜を働きたる旨白狀するに至れり

刑事兇賊と格鬪し急所を締め上げられて絶息す
遂に逮捕す、勇敢なる佐々村刑事

二十三日午後五時半頃京城光熙町一丁目と黄金町六丁目との界なる十字街路附近の泥濘中にて一旦逮捕されたる犯人逃走を企て

▲刑事巡査を殺害 せんとして絶息せしめたる椿事あり犯人は自稱京畿道水原郡大丁面林雞里生れ金宗烈（三）と云ひ大兵肥滿骨格逞しき稀代の怪力者にて警察にて竊盜犯として豫て手配中の曲者なるが同人が初音町の某鮮人方に潛伏中を發見したる本町警察署の佐々村刑事は誰何せる上逮捕し本町署に引致せんとし

▲初音町電車停留 場迄同行したるに降雨となりしより已むなく俄かに電車は容易に來らず剩へ附近の趙京源方に雨宿り中曲者は用便にかこつけ突然捕繩を引外して裏口より脱走したるより佐々村刑事は直に追跡し互に揉み合ひ居る中折柄の驟雨にて附近一帶は濁水漲り居れる爲め刑事は誤つて深さ一尺許りの

▲泥溝の中に墜落 したるに件の賊は逃走せず此の樣子を見て立戻り矢庭に泥の中に倒れ居る刑事を目蒐けて強か横腹を蹴上げたるに刑事は屈せず勇を鼓して組み付き兩名泥塗れとなり互に死力を盡して格鬪中賊は捕繩の一端を刑事の頸部に捲きつけて絞殺せんとしたるも果さざるより這度は

▲急所を強か摑み 斯くて約四十分間格鬪中此の樣子を見たる附近建築工事中なりし大工職山内勘市なる者が刑事に應援し辛くも縛し上ぐることを得たるも佐々村刑事は痛みに堪へず遂に絶息せり折柄附近居住の醫務總監部勤務の細谷警部本町署の平林刑事を始め急報に接して多數の署員等驅付け暴れ狂へる犯人を高手小手に縛したる上荷車に縛りつけて

▲留置場に運び込 み一方昏睡狀態に陷りたる佐々村刑事を取敢へず明治町村上病院に擔ぎ込みて應急手當を加へて蘇生せしめたるが容態は稍重きも生命には異狀なかるべしと尚格鬪の現場には多數の鮮人等人山を築きたるが犯人が和服姿の内地人風なりしより内地人同士の喧嘩と思ひ何れも手を下さゞりしものゝ如く又前記の山内も刑事と賊の格鬪なることを知り茲に始めて義俠的に加勢して遂に取押へたる次第なり

岩本仲買開業

休業中の岩本仲買店は榮三郎氏名儀にて二十三日より開業せり（大阪特電）

出羽海妻女の重傷

二十三日午前八時東京市深川區東森下町にて出羽海の妻女のぶ（三五）の乘れる人力車は電車に衝突しのぶは數個所の打撲傷を受けて昏倒せるが全治迄には二週間を要する見込なり（東京特電）

赤痢病に効能あるゲンノショーコ

此の夏は其處此處に赤痢が流行し出したので或る人が痢病の妙藥のゲンノショーコ（牻牛兒苗）は無いかと搜して居ると土地調査局の長根禎氏が庭前に栽ゑて居る長根氏は朝鮮に渡る時に

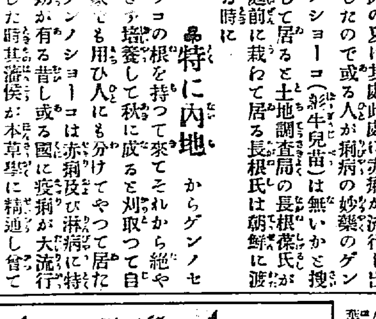
♣特に内地 からゲンノセウコの根を持つて來てそれから絶やさず培養して秋に成ると刈取つて自家でも用ひ人にも分けてやつて居たゲンノショーコは赤痢及び淋病に特効が有る昔し或る國に疫痢が大流行した時其藩侯が本草學に精通し曾て

♣此の草が 痢病に卓効ある事を知つて居つたので國中に布れを出してゲンノショーコを服用するように奬勵すると疫痢は忽ち熄んで終つたと云ふ話が或る本に書いて有るが吉野世溪さんがその本を讀んで澤山にゲンノショーコを栽培して自分も持藥に呑み人にも頒けてやつて居た長根氏は其を聞てから此草を

♣栽ゑ始め たといふ事だゲンノショーコと云ふは大學の藥學博士の命名した學名であるが其初めは効驗著しく現の證據を示す處からそう呼慣したものださうだ元の名は露草と呼び朝鮮では九節草と呼んで澤山に野生して居る

♣此の頃は 朝鮮人も『ゲンノショーコサリョー』と呼んで賣つて歩く此の草は一摑み位の葉を一升の水に容れ五合位に煮詰めて呑むのだが夏だれば青いのを直ちに煎じて呑んでも好いが青い内煎じると少し青臭いからコーヒか麥湯を混じて呑めば好いといふ事だ

ゲンノショーコ（牻牛兒苗）牻牛兒科一名フウロサウ山野路傍に實生の多年生草、莖細長にして節を有し匍匐す、莖葉は掌狀に分裂し長葉柄にて對生す、莖葉



共に毛あり、花期夏花は淡紅色にして五花瓣ありアカヌマフーロに類し小形、果實は長莢、熟後五瓣に裂く葉、莖、根共に健胃、淋疾及び痢病に効ありと

溺死

高陽郡漢芝面漢江里李宗默方雇人江原道高城郡生れの鄭成春（四十）は二十日午後同地鐵道踏切下の漢江にて水泳中痙攣を起して溺死せり

うかさのうわさ

ツイ少し前の事川上東拓理事、なにがしの出發を南大門驛頭に送つての歸途▲長い身體を車上に据ゑ、揚々と南大門横を太平町に曲らうとする途端▲理事の乘つた俥は先方から疾驅して來る俥と衝突し、アッと云ふ間もなく車夫は梶棒を摑んだ儘空中に浮いた▲理事も吃驚したが、さうした場合施すべもなく、車夫がつり上げられた時反對に下げられて大地にドウと投げ出され、仰向けさまに顛倒かへたさうな▲幸ひに其日川上氏は黑の山高帽をかぶつてゐた、で其の山高が大地にあてられて凹んだため、理事の後頭部は激打を免れ、幸ひに重傷を負ふには至らなかつた▲然し何でも暫時、理事の顔色は蒼白となり、例の太い眼も閉ぢるの外はなかつたらしい▲此體を見て、後方から俥を驅つて來た阪出技師等は大に駭き、直ちに理事を起し介抱したさうじやが▲此の間矢野通信課長もあの附近で落車してゐるから、餘程危險な場所らしい、一般の注意が肝要々々とは或る人の話し

學生の夏休と家庭
家庭で娘らしい生活をさせたい
◇と考へて姑息な宿題や召集と云ふやうな事は一切止めて終ひました◇

京城高等女學校長　成田忠良氏談

私の學校の暑中休暇は眞んとうの暑中休暇で此の間に於て充分に生徒の手足を伸ばして休ましてやり度いと考へて姑息な

▽宿題や召集 と云ふやうな事は一切止めて終ひました、三日目乃至五日目毎に召集を受けたり毎日二三時間頭を苦しめなければ能きないやうな宿題を課せられて居ては休みだと云ふやうな暢びらかな感じの半以上を奪はれて終ふそれならば寧ろ休まない方が優しではあるまいか生徒は休み中位は

▽父母の膝下 で如何にも柔らかな娘らしい生活をする事が大切で又中流以上の家庭になればそれ〴〵家庭敎育の意見も持つて居られる事であるから此の間に於て充分母姉の躾けを受けるが良いしかし學校の事も全然放棄せよと云ふわけではない裁縫とか習字とか云ふ長い間練習しなければ成績の擧らぬ學科は此の間に各自練習するやうに注意だけはして置いた、能ふべくんば

▽休暇を利用 して母國訪問旅行でも爲たいがそれは學校の經費其他の都合上希望通りに成りません、今では内地からも朝鮮觀光に來る者が多いのに朝鮮で生れてまだ母國の土を一度も踏まないといふやうな生徒もあるし又伊勢大廟、桃山皇居等を參拜する事は大切の事と考へて居るが今年はまだ其の運びに至りません

…兩道夜盜蟲發生 平安南道管内に於ては先般來江西、江東、平原郡の一部に夜盜虫發生し粟、蜀黍、玉蜀黍、陸稻等の農作物に多少の被害あり又平安北道にも同じく夜盜虫の發生を見管内寧邊郡、熙川郡、義城郡の一部に被害あり被害作物の主なるものは粟、蜀黍、玉蜀黍、大豆、菁梁にして當局は直ちに被害田の耕作者又は所有者をして夜盜蟲驅除豫防を施行し…

新劇座の昔…

社員急至採用
簿記會計事務に精通したる奮鬪的の士を求む自ら適任と信ぜらるゝ方は履歴書御送付又は御來談を乞ふ但し確實なる保證人二名以上を要す
京城廣江通四番地　蘭絲移出業　東蠶社　長電龍山六四一番

蘭絲委托問屋
豊橋市札木町　一〇豊橋蘭絲合資會社　電略（一〇）

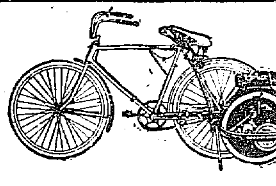
營林廠拂下 特種原木
紅松、杉松、其他多數持合せあり
製材の上又は原木の儘廉價賣却す
京城岡崎町　清水製材所　電話龍山五十三番　振替京城四一九番
京城明治町　北方支店　電話一九四〇番

稻麥扱

東京本所長崎町六
實用新案 全鮮無比 大把引きまゝ美事に扱落し最新式にて稻麥扱界之王也 説明書進呈
進呈

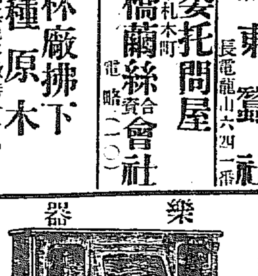
質　堀佐營業所
京城黄金町二丁目入（永樂町停留所北）電話六三九番

東京時事新報社二大の子供雜誌
八月號出來
少年と少女
少年　魔の山探檢 外に小說數十篇
少女　綠の木陰 以下夏の讀物を滿載
定價各一冊十六錢、郵稅一錢五厘


スミスモーターサイクル機械堅牢無比にして破損の憂無く普通自轉車に僅かに五分間にして取付けらる、價格も壹百八十五圓にしてガソリン及オイル共に一哩僅に一錢にて使用出來馬力は一馬力半にて如何なる急坂と雖も上ることを得旅行家及愛輪家遊獵家に最も適すカタロク御入用の御方は御一報次第送呈す
スミスモーターサイクル
朝鮮總特約代理店
タイプライター確實修繕
ツヅキ自轉車商會
京城南大門通三丁目　電話二、三一〇番　電略（ツ）又は（ツツキ）
（新荷到著）

消化と毒けし
仁丹
ボツ〳〵と惡疫の流行する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!
金言　要人當師なし（韓退之）

内科 小兒科 入院隨意
京城府龍山元町　裴野醫院　電話二〇四番

樂器

オルガン、ピアノ
音樂隊吹奏樂器
ヴァイオリン、マンドリン
大正琴、ハモニカ、琵琶
其他樂器一切附屬品
目錄進呈
大阪新町通二丁目（振大阪一九三二番）
寺田樂器店
電話新町（一四二）（長一四四）
▲御入用の方は郵券二錢封入御申越被下度候

代理店設置
今般京城に朝鮮總代理店を設置するに付き信用ある代理店主を募集す希望者は履歴書を送らるべし契約に當り二名の確實なる保證人と五百圓の保證金を要す代理店收入一ケ月四百二十圓以上店主收入百五十圓以上
エー、ケンブリッヂ ル萬年ペン
發賣元　長崎市萬屋町九十一番地　笹田商業部
電話一五九九番　振替福岡八八六九番

眼科專門
京城本町四丁目カルス温泉横（電一五五六）
日曜祭日午前中
金井眼科醫院　金井豊七

花かたみ（六五）

松田竹の島人作

早見は、逡巡してゐる内には、幾ら暢氣な大森でも、多分歸つて來るだらうと、頼みにならぬことを頼みにして、下宿屋の女房と相語りつゝゐたが、十二時前に爲つても、遂に大森が歸つて來なかツたから、最う仕方がないと諦めて、下宿屋を出て的もなく江戸川橋の方へ向ひて、ブラ〳〵と歩行いた。

通りには夜店が出て、夏の夜の納涼がてらに、人通りは未だ絶ねなかつた。早見は、大森が歸つて來るならば、必ず電車で、江戸川終點で降車するに相違ないから、出逢ふこともあるだらうと、來る人毎に深き注意を以て見たけれど、大森らしい人にも出逢はなかつた。

愈々大森に出逢はぬことに爲ると今夜は何處で明したものか、正可乞食や浮浪人のやうに、野宿も能きないが、一と晩の宿りにさへ差支へるとは、自分も餘程零落したものだと滲々感じた。

と、背後から突然に、

『早見君』と呼んだ者があつた。

早見が振り返つて見ると、それは田淵であつたから、意外なのに驚いて、

『田淵君か』と眼を瞬つた。

『先刻は君を思ふ餘り、少し言ひ過ぎて、失敬したよ。』

『いや僕こそ失敬したよ。』と早見は打ち解けてゐるらしく言ふたが、其心の中では、今宵什麼して田淵が此邊を歩いてゐたかと、窃に思ふたのであつた。

田淵は、早見と肩を並べて、緩く歩行きながら、

『嘉七方を移轉せんけりやならんやうに爲つて嘸困るだらうね。』

『萬更困らんでもないね。彼奴一と通りでない薄情な奴でね。騎虎の勢ひ、已むを得ず嘉七方を出たが荷物を押さへられたには、困つたね。』

『だから僕の言ふことを背いて、二十圓取つて置けば可かつたに。』

『だッて君から二十圓貰ふ法はないからね。』

『友人の僕が遣るのだから、些とも遠慮はないぢやないか、君は僕の好意を無に爲するから不可んよ。』

『それ程好意のある君が、何故嘉七を教唆して僕を逐ひ出させたのだ。』

早見は心の鬱憤を抑へ切れないで、遂に口から出して、眈と田淵の顔を見た。

『君の邪推の深いのには驚くよ。僕は嘉七を知つちやゐるが、何んで教唆して君を逐ひ出させるもんか。其麼ことを思つてゐられちや、實に困るよ。』

『君は口と心とが、大いに違つて居るからね。』

『醜いことを言ふぢやないか。僕は君から誤解されてゐることは、非常に苦痛を感ずるよ。什麼だ君、今から僕の家へ來て、泊ることに爲たら、然うすると、寛り僕の腹の中を打明けて聴すがね。』

早見は考慮へた、今一夜を明かすに困つてゐる矢先だから、田淵の家へ泊らう、そして甚麼ことを言ふか、それを聞いてみやうかと。

『それぢや今夜君の家に厄介に爲つて、噺を聞くことに爲やう。』

『然うしてくれ給へ、僕が腹の中を打ち明けたら、君の誤解を全然消すことが能きやうと思ふからね。』

『然うだと、僕は田淵勉といふ友人を捨てずに濟むのだがね。』と早見は忌憚なく言ふて、凝乎と其顔色を窺ふた。

田淵は、棲む家さへない窮迫に、落魄してゐる癖に、何にを生意氣なことを言ふと、腹の中では早見を蔑んだが、吾が目的の遂せらるゝまでは隱忍するに限ると、唯にや〳〵笑ひながら歩行いてゐた。

日報俳句會句錄（一）

兼題『涼』

作者五十名、互選結果（十三點）坡柳、句平（七點）橙黄子、黄丘（六點）草綠、但人、不足、青丘、烏堂（五點）浩一郎、玄翁、（四點）田打夫、白風、容堂、悟庵、（三點以下略）

（九點の句）
蜘蛛の糸吹かれ朝の内涼し　坡柳

（五點の句）
沖へ出る程海の蒼さや風涼し　草綠
釣瓶井戸底にこた涼しと夜風　黄丘
白い鉢の方の草花が咲いた涼し　句平

（四點の句）
朝から女客ばかり涼し　句平
涼追ひ來て祭の提灯くとる　不足

（三點の句）
石段いつさんに驅登り涼しさ　浮碧樓
涼しさの街見て歩く夜毎哉　浩一郎
月に鼓す涼しき山の巫女哉　青丘
涼しさや人踏み去りし砂に浪　橙黄子
薄絹の鮮妓アラランの登涼し　櫨村
原稿取りに渡して了ひ涼しくなり　烏堂

夏の句を募る

雜吟。一人十句以內。用紙半紙型。締切無し選句次第發表。宛名本社編輯局『日本俳壇係』

一日一句

畏き命を拜し奉りて
君恩や佩劍いたゞく夏衣　烏兎
水打つや岩雫して池に入る　案山子
病葉の落散れり二三片打水乾く　瀬村

新刊紹介

▲飛行少年（八月號）大膽兵團の殺到（隨軍大將上田有澤）高原山中の一夜（山村氏畠）は日露戰話及び冒險談として本號の肚色、連載小說として好評嘖々たる冒險小說水底の大動（黒田湖山）熱血小說懲士軍來（宮崎一雨）愛國小說空中艦隊の來襲（仲摩鐵室）探偵小說越後山越ね（佐藤希葉）探偵奇譚怪獨探の末路（中地竹峰）なほ少め丘理學博士、辻文學博士の有益なる讀物其他少年小說、滑稽小說寫眞小說歷史小說等十篇皆面白く本號には特に夏期大懸賞朝鮮海峽橫斷飛行競爭等の募集あり銷夏の好伴侶たり（十二錢東京京橋南傳馬町日本飛行研究會）

▲飛行幼年（八月號）見るからに涼しく仕掛附き表紙『兎の餅搗き』はあつと言はせる妙案其他十數頁は目も醒めるやうな美しい繪許りで、小供の歌、御伽話、歷史話など皆面白し（十二錢東京々橋櫻橋際日本飛行研究會）

▲普通文官養成講義錄　八科目に分ち法學通論は法學博士中村進午氏憲法講義は法學博士清水澄氏民法講義は法學博士横田秀雄氏商法講義は法學博士青木徹二氏刑法講義はドクトル、イリエス山岡萬之助氏日本歷史講義は文學博士佐々政一氏漢文講義は文學博士久保得二氏國語記法講義は商學士相馬駿次氏擔任し會員組織にして四月一日に第一卷を同月十五日に第二卷を發刊せり（東京神田駿河臺袋町一六日本大學法制學會）

▲主婦之友（八月號）中流新家庭の暮し向は月收四十五圓以上百圓以下の家計法を數字を擧げて說明し有効なる夏の暮し方は四婦人の手になる有益なる讀物にして其他新婚の媒に迷つた母の手紙、婦人の運命判斷、カチウシャ物語、夏向のお總菜料理のいろ〳〵、盛花の指南、子供の美德養成法十三則等見るべきもの多し（十七錢東京牛込赤城元町東京家政研究會）

▲實業之日本（七月十五日號）先づ物價暴騰の原因、影響、將來の形勢、其れに備ふる方法等より今日の大勢を論破し、增田社長の『吳言』新渡戸博士の『旅行の趣と實益』浮田博士の『日本國民の一大事』何れも處世の訓、關西大講演會に於ける大隈侯爵の『日本の世界的發展』森村男爵の『青年の自覺』は有益の論文勿論堂生の奮闘經歴談『千里獨往』は本山彦一氏の『安全第一の登山方』上の才岡本山林局長の『山の選び方』堂田靜學士の『夏は山か海か』登山に關する名士の回答數多等趣味津々夏季最好の讀物なり（十三錢東京京橋共社）

▲婦女界（八月號）家庭の衛滿に就て新婚者への注意（鳩山春子）夏季に於ける飲料に就ての注意（澤村博士）乳放れの時に必要な注意（佐多醫學博士夫人）乳のよく出る方法（下田醫學士）の外十餘人の『最も經濟的に避暑をした經驗』談は一切の費用を明細に書添へたれば時節柄好箇の避暑案内たるべく其の他料理裁縫染色等の實際的記事を滿載せり家庭小說『亂流』柳川春葉作には本件益々發展し日本固有の女性美は可憐なる妙子の性格の上に遺憾なく現はれてゐる（十七錢牛込加賀町一の廿四共社）

▲中等英語（七月號）中學校二三年教程程度にして興味を以て讀讀、文法、會話、作文等に親しむ樣編纂せり好誌たるを失はず（十二錢東京富士見町六の二〇研究社）

▲朝鮮教報（七月號）七錢京城元町二の七三本挙寺內共社

▲朝鮮青年（七月號）五錢京城永樂町二の八七松島利吉

▲衣食住新報（七月號）六錢東京牛込早稲田鶴巻町二二共社

◎雜誌『農蠶研究』の好況　東京本所長崎町農蠶研究社發行の同雜誌は今回大發展記念として景品付一箇年讀料若料四十錢引にせる結果地方農會其他よりの申込に忙殺されつゝあり因に本誌は農蠶業に關する有益なる諸般の記事滿載せりと

讀者の領分

南大門附近の亂雜なること不潔には實に驚かざるを得ない先づ夜間は門の內外兩側の石垣は殆ど明所なき迄乞食の安眠午後の三四時は門の影に蟻集する下等勞働者共れを目當てに飲食物の行商は潰瘍の如き腐敗のバナナ、茶色の氷水見るも嘔吐を催さゞるはなき品物許りであるア、同所は遂に離題門と改稱させざる可らず（近傍住民）▲貴紙朝刊一面の小說『誰』は日々に佳境に這入つて來るが何うも盜賊は鈴富ではないらしい檢事は巧みな訊問をして居るが未だ老練な人ではなかり相な此の事件の解決をなす君だと思ふが如何に（休職警官）▲南大門停車場は鳥渡頭丈け出した縷骨すか其の狹い事は近來益々直覺的に市民を刺擊する今日釜山行の汽車の出る時停車場へ行つて見給へ全く芋こぎで溜つたものではない旅客も送迎人も命がけだ何はともあれ一日も早く改築が願いたい彼れが京城の玄關口ちや尙更らたまらぬ（畔易生）▲此頃夕方漢陽公園に上る人の中に城壁から石を投げるものがあるので壁下の吾々は迷惑千萬である此の間も瓦を三枚破られた（城壁の住人）▲何時も臭い不潔なのは南米倉町の市場である取締が出來なければせめて通りを臭くない樣にして貰ひたい殊に此の頃其の上の方へ大きな倉庫が出來たので毎朝荷車と馬車とで往來は通行止めだ倉庫などは門外へ逐てさすのが好い（不都合生）

廣告

東京帝國農科大學 三宅博士勸奬

朝鮮人參精製

ホシ人參丸

ホシ人參丸は 精力を盛に 腦力を強む

朝鮮人參の寫眞

靈藥にして古來より盛に賞用せらる殊に支那に於て其需要盛なるは蓋し精力増補の効驗偉大なるが爲ならむ

主効　神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、リウマチス、子宮血の道、腦病、神經痛、陰萎、營養不良、胃臟等に効あり

定價　廿錢　五十錢　一圓　二圓

各地藥店及特約店にあり

發賣元　東京京橋南傳馬町　星製藥株式會社　振替東京二〇五二二番　電話京橋一七八五番

ホシ胃腸藥

胃病にホシの胃腸藥

平常胃腸病にて苦しむ人は試よ

俗に云ふ胃病　即ち　慢性胃加答兒　消化不良　溜飲等に　良く効く

其他　食もたれの時　胸痞惡心の時　惡醉宿醉の時　飲過食過の時　最も良し

定價　十錢　二十錢　五十錢　一圓

各地藥店及特約店にあり

胃腸藥中第一の最良品

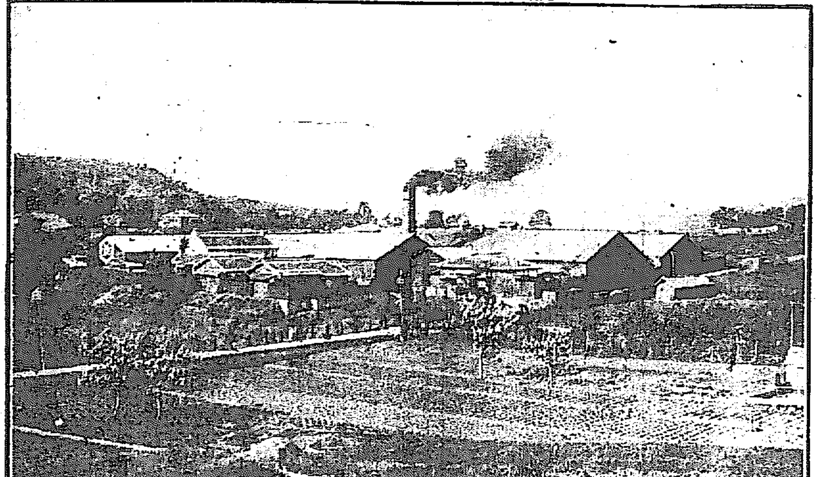
尾張本場 宮重大根　其他各種子定價表無代進呈　尾張國西春日井郡新川町（青物市場附近）　平野和兵衛

診察時間　自午前九時至午後六時　初診の御方は可成午前中　京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）　シメノウチ齒科醫院　電話八二二番

醇良無双清酒　無害衛生　品質無双　登錄商標
釀造元　福岡縣城島町　首藤合名會社
發賣元　京城府黄金町二丁目　首藤京城支店　電話長一一七一番
釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

內科 胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話 一三九〇番 二七二九番

醬油味噌界の霸王　キッコーウリ　醬油ほまれ味噌釀造元（仁川港日本醬油株式會社工場全景）



資本金壹百萬圓　京城 株式會社 漢湖農工銀行　支配人 遠山熙
不動産抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店所在地（開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

尾崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 七月廿八日後四時出帆
○大有丸 七月廿四日後四時出帆
○秀吉丸 七月　日後四時出帆
▲神代丸 七月廿八日後四時出帆
▲印大阪直行
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番 二三三番
京城南大門停車場前 荷客取扱店 松原運送店 電話長一一七〇番
○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは元山直行清津寄港せず
×京畿丸 七月廿四日
×忠清丸 八月五日
咸鏡丸 八月九日
柳川丸 七月廿九日　釜山發
○元山より各地經由雄基行
穩城丸 七月廿九日
鏡城丸 七月廿四日
三浦丸 七月廿六日　元山發
○浦潮行（元山より城津清津經由）
平壤丸 七月廿四日　元山發
○元山長箭間
鏡城丸 七月廿三日
穩城丸 七月廿八日
咸鏡丸 七月三十日　元山發
○釜山元山間
金海丸 七月　日 釜山發 / 七月廿六日 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
登德丸 七月　日　釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸 / 襄陽丸 毎日　釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 七月廿五日　釜山發
○麗水行（各地經由）
海州丸 / 統營丸 巨濟丸 毎日　釜山發
○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
順天丸 / 南陽丸 三日目毎に　木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
東廻、公州丸 七月　日 / 西廻、慶興丸 七月廿七日　木浦發
○多島海各島行
慶興丸 七月　日　木浦發
○木浦行（群山其他各地經由）
晉州丸 七月廿八日 / 麗水丸 七月廿三日　仁川發
○鎮南浦行（海州其他各地經由）
宗信丸 七月廿七日　仁川發
○海州行（江華島喬桐島經由）
全州丸 / 錦江丸 毎日　仁川發
但し三十一日は休航

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路（遠洋航路を除く）の連絡御乗船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
◎神戸、大阪行
×天智丸 八月三日
△南都丸 七月廿七日
×臺東丸 八月四日　後二時出帆
◎南浦、群山、横濱行
濟州丸 七月　日後二時出帆
×潮州丸 八月三日後二時出帆
△福州丸 七月　日
◎木浦、釜山、厳原、門司、長崎行
安東丸 七月廿一日 / 安東丸 八月十八日　後二時出帆
◎鎮南浦、大連行
安東丸 七月廿六日 / 安東丸 八月十三日　後二時出帆
○南浦、神戸、大阪行
臺東丸 七月　日後二時出帆
◎西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆）
須磨丸 七月廿四日後十二時出帆
◎清津行（元山出帆）
宮島丸 七月廿八日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸 七月廿三日前五時出帆
基隆丸 八月八日後四時出帆
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道各驛と連絡切符發賣仕候 ●御乗客御一時間無賃送迎可致候 ●×印は本船切符△印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話二〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開盛旅館 電話二六一番

大阪期米特電

▲依然保合　大阪の小鍋き入氣なる前場不勢の捜先二十四十一錢と寄せたるも今より買物頭はれたるさ其他の買に對し名店より利向ひたるも商内

▲市場閑散　大阪の不勢を受けたる同店の前場は東京の蟹千餘石賣四五百石

▲目先小相場乎　此處大天發明なるも此の邊り

▲寄飛　千葉縣海上